

様式（文部科学省ガイドライン準拠版）

令和5年度

自己評価報告書

令和6年3月1日

道灌山学園保育福祉専門学校

目 次

本書の使い方.....		基準4 学修成果.....	24
1 学校の理念、教育目標.....	1	4-13 就職率.....	25
2 本年度の重点目標と達成計画.....	2	4-14 資格・免許の取得率.....	26
3 評価項目別取組状況.....	3	4-15 卒業生の社会的評価.....	27
基準1 教育理念・目的・育成人材像.....	4	基準5 学生支援.....	28
1-1 理念・目的・育成人材像.....	5	5-16 就職等進路.....	29
基準2 学校運営.....	7	5-17 中途退学への対応.....	30
2-2 運営方針.....	8	5-18 学生相談.....	31
2-3 事業計画.....	9	5-19 学生生活.....	33
2-4 運営組織.....	10	5-20 保護者との連携.....	35
2-5 人事・給与制度.....	12	5-21 卒業生・社会人.....	36
2-6 意思決定システム.....	13	基準6 教育環境.....	38
2-7 情報システム.....	14	6-22 施設・設備等.....	39
基準3 教育活動.....	15	6-23 学外実習、インターンシップ等.....	41
3-8 目標の設定.....	16	6-24 防災・安全管理.....	43
3-9 教育方法・評価等.....	17	基準7 学生の募集と受入れ.....	45
3-10 成績評価・単位認定等.....	20	7-25 学生募集活動.....	46
3-11 資格・免許の取得の指導体制.....	21	7-26 入学選考.....	48
3-12 教員・教員組織.....	22	7-27 学納金.....	50

基準 8 財 務	5 1
8-28 財務基盤.....	5 2
8-29 予算・収支計画.....	5 4
8-30 監査	5 5
8-31 財務情報の公開.....	5 6
基準 9 法令等の遵守	5 7
9-32 関係法令、設置基準等の遵守	5 8
9-33 個人情報保護.....	5 9
9-34 学校評価.....	6 0
9-35 教育情報の公開.....	6 2
基準 10 社会貢献・地域貢献	6 3
10-36 社会貢献・地域貢献.....	6 4
10-37 ボランティア活動.....	6 6
4 令和4年度重点目標達成についての自己評価	6 7

1 学校の理念、教育目標

教育理念	教育目標
<p>道灌山学園は、昭和 27 年道灌山幼稚園から始まった。幼稚園教育の教育を推進している中で、教員の養成が重要であることがわかり、昭和 45 年道灌山学園教員養成所として幼稚園の教員養成が開始された。平成 11 年介護福祉士の資格が取得できる専攻科が増設され、道灌山学園保育福祉専門学校と校名が変更された。</p> <p>幼児教育は、人間性の基礎を培う上で、極めて大切であり、教育によって豊かな、個性を伸ばし、創造性とたくましく生きる力を養成することが重要で、それには、心豊かで誠意と愛情を持った保育者の養成が重要と考え、理念、目的に掲げて教育実践に取り組んできた。</p> <p>本校の卒業生が現場での評価が上がると共に、社会からの期待に応え、良い相乗効果で、就職等の実績では、目覚ましい成果が見られる。</p> <p>学生指導の充実、授業のカリキュラムの充実に向けて、教職員が教育に取り組む事で一層の成果の期待される学校にしたい。</p>	<p>教育基本法及び学校教育法、児童福祉法、社会福祉士及び介護福祉士法に則し、学校教育を行うことを目的とする。</p> <p>「心育学」を目標に、「優しさ、親切、思いやり」の情操と「やる気、根気、我慢」の意欲を大切にしており、中でも「思いやりと、やる気」を人間性とし心を育てる教育を心育学と名付けた。幼稚園教員、保育士、介護福祉士にとって欠かすことの出来ないこの人間性に資質、能力、を加えた保育者、介護者の育成を行う。</p>

2 本年度の重点目標と達成計画

平成4年度重点目標	達成計画・取組方法
<p>本校では、学校運営を円滑に行うために、教職員が教育の理念を十分理解し、一体となり教育を推進している。学生の資質の向上、やる気のある学び、学習に意欲的に取り組む、自主性のある学生が育つように適正な指導を心掛けている。</p> <p>(1) 学生の資質の向上と、実力を付けた教員・介護福祉士の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者としての自覚を持った使命感の有る人材を育て、保育に対する技能や知識を養成する。 ・幼児の発達段階や、課題を理解し、その対応の指導できる知識を身につける。近年特別な配慮が必要な「気になる子ども」が多いと聞くので対応能力の育成 ・高齢者のこころとからだのしくみを理解して実際の介護に役立てる。 ・卒業して直ぐに出てくる課題として、保護者への対応の仕方が大切で、良き社会人としての倫理観を持った人を養成する。 <p>(2) 意欲の有る、人間性豊かな、保育士、幼稚園教員、介護福祉士の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意欲的で気づいて行動を出来る人材が求められている。在学中より課題の提出・勉学を通じて意味を意識付けしたい。 ・仲間と共に学び合う中で、コミュニケーション能力を高め、協力できる人間関係を築く。 ・人間愛の元に一人ひとりを認め合い、感性を育てる事に努力する。 	<p>保育過程・介護過程では、人間性の育成という、高度な精神活動に従事し関わる専門職であるので、次の点に重点をおいて取り組む。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1, 授業に対する真摯な態度を評価する。 2, 出欠席を授業前に確認し、勉学の態度を認める。 3, 保育研究発表会、保育技術発表会、介護体験実習報告会等、の学校における行事に意欲的に取り組む。 4, 授業・実習での報告・連絡・相談の重要性を実体験で学ぶ。

最終更新日付

令和6年2月3日

記載責任者

高橋 系治

3 評価項目別取組状況

基準 1 教育理念・目的・育人人材像

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>心を育てる「心育学」の理念より、保育士、幼稚園教員、介護福祉士の養成を目指し、社会にも認められ、期待が寄せられている。保育に関する社会のニーズも高く期待が寄せられているが、学生の資質や価値観に変化が見られ指導に難しい面が見られる。</p> <p>学生指導と就職指導の重要性を認識し学生に対するきめ細かな指導が必要となっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学園創設者の書いた「本当の幼児教育を求めて」を入学者に読ませ、感想を記述して、学園の教育理念の理解をうながす。 ・講義・演習・集会・学園便り等で保育者とは、介護福祉士とは、の使命感に加え、知識や、技術を学ぶ。 ・幼児の発達過程や課題を理解・高齢者の心理を把握し、幼児や、高齢者の立場に立って、接することが出来る様に育てる。 ・人間性を持って一人ひとりに接し、社会人としてのルールを身につける。 ・共に学習し合う仲間とコミュニケーションをとり協力しながら目的を達成する力を培う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「心を育てる心育学の実践」を行っている。 ・毎年高い就職率を示し、卒業生が全国各地で活躍している。 ・小規模校であるのできめ細かな指導が出来る。 ・交通の利便性が良いために、通学しやすい。 ・学生の資質向上の為に、保育技術発表会・保育研究発表会・合唱交換会等各行事を行っている。 ・働きながら学ぶ、Ⅱ部の学生減少傾向があり、今後の課題である。 ・高齢者への介護の魅力を伝えていくことが課題である。 ・学生に保育現場で力が発揮出来る課題を課している。 <ol style="list-style-type: none"> ①折紙帳の作成 ②略画集 ③善行記録

最終更新日付

令和6年2月3日

記載責任者

上田 寛子

1-1 理念・目的・育成人材像

小項目	チェック項目	評価	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
1-1-1 理念・目的・育成人材像は、定められているか	<input type="checkbox"/> 理念に沿った目的・育成人材像になっているか <input type="checkbox"/> 理念等は文書化するなど明確に定めているか <input type="checkbox"/> 理念等において専門分野の特性は明確になっているか <input type="checkbox"/> 理念等に応じた課程（学科）を設置しているか <input type="checkbox"/> 理念等を実現するための具体的な目標・計画・方法を定めているか <input type="checkbox"/> 理念等を学生・保護者、関連業界等に周知しているか <input type="checkbox"/> 理念等の浸透度を確認しているか <input type="checkbox"/> 理念等を社会等の要請に的確に対応させるため、適宜、見直しを行っているか	5 4 4 4 4 4 4 4	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育法に基づき運営を行っている。 ・学校説明会、学校案内、学校便覧等において本校の運営のあらましを分かりやすく伝えている。 ・シラバスは、新教育課程に基づいて作成にし、学生にも理解出来る様に表している。 ・本校の教育理念、目的は、講話を通じて繰り返し話し、理解をうながす。 ・高等学校説明会、専門学校フェア等を通じて学外に開かれる学校となるようにしている。 	学校説明会、入学後のオリエンテーション等で伝えてはいるが、まだ不足の部分が見られる。 <ul style="list-style-type: none"> ・講師には、シラバスに沿った授業を展開するように依頼している。 ・「学びやすい授業とは」常に課題意識を持ちながら運営している。 ・学校のホームページは、常に新しい情報を載せている。 ・学校を分かりやすく、理解して貰う工夫を繰り返す事が重要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の根幹である、理念目的は、このまま継承していきたい。 ・学生の生活面の指導も社会人として大切な一面であり見守っていききたい。 ・聴講していて判り易い授業を講師には依頼している。今後共継続して判り易い講義をお願いしていく。 ・学校説明会、高等学校進路説明会には、出来る限り参加し広報を積極的に行っていきたい。 	学校説明会資料 学校案内 学生のしおり<学生便覧> 学則 シラバス集 ホームページ
1-1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 課程（学科）毎に関連業界等が求める知識・技術・技能・人間性等人材要件を明確にしているか <input type="checkbox"/> 教育課程、授業計画（シラバス）等の策定において関連業界等からの協力を得ているか	4 4	<ul style="list-style-type: none"> ・開校以来卒業生、先輩方の努力が、次に続く者の指針になっている。 ・実習場・介護実習場と関連業と連絡を取り合って良い関係を保っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者・介護者にとって必要な知識、技能を身につけ、その後就職した際に生かされるようにしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一年では保育研究、二年では、保育技術発表会、介護報告会のレベルアップ等で知識・技術を個人的に高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校説明会資料 ・学校案内 ・シラバス ・実習の手引き ・学生のしおり

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
1-1-2 続き	<input type="checkbox"/> 専任・兼任（非常勤）にかかわらず教員採用において関連業界等からの協力を得ているか <input type="checkbox"/> 学内外にかかわらず、実習の実施にあたって、関連業界等からの協力を得ているか <input type="checkbox"/> 教材等の開発において、関連業界等からの協力を得ているか	4 4 4	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の採用においては、教員の知識・技能・人間性、必要要件が満たしていることを確認 ・実習先とは詳細な連絡を取り合い、実習先で行うパネルシアターが好評を博している。 	<p>学校生活において、保育技術等の習得は、保育の現場で直ぐに活用が出来る。保育技術にのみならず、知能・技能共に教育課程の中に生かせるようにしたい。</p>		
1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	<input type="checkbox"/> 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか <input type="checkbox"/> 特色ある職業実践教育に取り組んでいるか	4 4	<ul style="list-style-type: none"> ・全校集会時には、必ず学園の基本方針を書いた物を紹介し、気持ちを新たにしている。 	<p>課題意識が持てるように今後も取り組んでいく。 演習科目の指導方法を充実させる。</p>	<p>日常生活態度が、現場に出たときに大きな力になることを受けて、きめ細かな教育活動を展開する。</p>	<p>学校案内 学生のしおり<学生の便覧> 就職のしおり</p>
1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	<input type="checkbox"/> 中期的（3～5年程度）視点で、学校の将来構想を定めているか <input type="checkbox"/> 学校の将来構想を教職員に周知しているか <input type="checkbox"/> 学校の将来構想を学生・保護者・関連業界等に周知しているか	4 4 4	<ul style="list-style-type: none"> ・保育の資格、幼稚園の資格、介護の資格を持つことで、現場のニーズに合った資格要件を満たす。 ・保育・介護の両資格は、生涯に渡ってプロとしての働きを保障する。 	<p>新教育課程を見直し検討する。</p>	<p>保育研究発表会、保育技術研究発表会を検討しより良い活動にしていきたい。</p>	<p>学園だより</p>

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>職業に対する意識を育てつつ、勉学に取り組むのが専門学校の使命と考えている。 学生の一人ひとりの意欲を縦続させることが課題と受け止めている。</p>	<p>入学当初は、志を持っていた者が次第に受け身になり、目標が見なくなる事がある。常に問題に取り組める様に育成に努めていく。</p>

基準 2 学校運営

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校は、10,000名を越える、卒業生を送り出し、全国各地で活躍している。その実績におぼれること無く現在の厳しい状況の中で確実な学校運営をする事が重要と考える。</p> <p>現在保育士・介護士不足が叫ばれ卒業生は大きな期待の基、仕事に当たっている。</p> <p>故に、本校は、その養成に対して学習能力、生活面、進路面での3点について、目標を設定し、水準を引き上げる指導を目指していく。</p> <p>現在、入学者数が減少傾向にあり、財政面で伸び悩み納入金の確保が課題となっている。</p> <p>良い人材を育てるには、良い講師陣の確保と設備の充実が不可欠となっている。どちらも財政的な裏付けが必要な面となっている。</p>	<p>高等学校説明会には積極的に訪問し、学生の入学が増えるように努力している。また学内の説明会の内容を学生視点に立って充実させていきたい。同時に指定校制度の導入を検討する。</p> <p>経済的に苦しい状況の学生については、授業料の分納制度や日本学生支援機構等の奨学金が借りる制度を利用しているが、更に学びやすい方法を今後共構築していきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・介護福祉士専攻科は平成29年にカリキュラムが変わり新しい制度に切り替わり、保育士養成課程の改定に伴い新教育課程の授業が順次学年毎に切り替わっている。 ・今年度の昼間Ⅰ部生・夜間Ⅱ部生・介護福祉士専攻科は、定員に達することが出来なかった。 ・介護福祉士専攻科は国家試験対策合格率100%を目標に努力している。

最終更新日付

令和6年2月3日

記載責任者

高橋 系治

2-2 運営方針

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
2-2-1 理念等に沿った運営方針を定めているか	<input type="checkbox"/> 運営方針を文書化するなど明確に定めているか	4	職員会議等、冒頭校長より、学園の理念、目指すべき姿を繰り返し示している。 学生集会の折りに講話をして意識付けをしている。	学生のしおり、に記載しいつでも目を通す事が出来る。	開かれた学校である為に職員、講師からの様々な意見を集約し改善に努めている。 職員の意識改革が対せ必要である。	学生のしおり 学校案内 学則 職員会議議事録
	<input type="checkbox"/> 運営方針は理念等、目標、事業計画を踏まえ定めているか	4				
	<input type="checkbox"/> 運営方針を教職員等に周知しているか	4				
	<input type="checkbox"/> 運営方針の組織内の浸透度を確認しているか	4				

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
職員会議の折に、運営方針を示し、学校説明会の折にも話す機会があり理解していると考え。	運営方針は、創設者の理念を本巻とし、開校当時から受け継がれている。

最終更新日付	令和6年2月3日	記載責任者	高橋 系治
--------	----------	-------	-------

2-3 事業計画

小項目	チェック項目	評価	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか	<input type="checkbox"/> 中期計画(3~5年程度)を定めているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・学園の目的目標を記した基本計画がある。 ・学生のしおり、シラバス集に基本方針が示されている。 ・事業計画は日程に沿った形で運営されている。 ・教職員組織の概要に合わせて業務分担を実施している。 ・事業計画の執行後は必ず反省会を行い見直、内 	<ul style="list-style-type: none"> ・学生・教職員に、学生のしおり、シラバス集を配布して読んで理解し共通に認識している。 ・それぞれが業務分担をししながら行っているが、時に提携を取りながら運営していくことが大切な場合も有る。 	行事のあり方を、常に見直しより良い活動に改善したい。	シラバス集 学生しおり<学生便覧> 学校案内 募集パンフレット
	<input type="checkbox"/> 単年度の事業計画を定めているか	4				
	<input type="checkbox"/> 事業計画に予算、事業目標等を明示しているか	4				
	<input type="checkbox"/> 事業計画の執行体制、業務分担等を明確にしているか	4				
	<input type="checkbox"/> 事業計画の執行・進捗管理状況及び見直しの時期・内容を明確にしているか	4				

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
毎年繰り返される事業計画は、特に新鮮さを見失いがち多面的な意見等を取り入れ改善策としたい。	事業計画は、前年度で行った反省を行い次年度に反映する事を繰り返えし、次第に計画が洗練されていく。

最終更新日付	令和6年2月3日	記載責任者	高橋 系治
--------	----------	-------	-------

2-4 運営組織

小項目	チェック項目	評価	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか	<input type="checkbox"/> 理事会、評議員会は、寄附行為に基づき適切に開催しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・理事会、評議委員会は、適切に開催し、議事録も作成されている。 ・寄附行為は、必要に応じて適切に改正され処理されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・法人内の様々な問題を理事・評議委員の方々に率直に提案頂き前向きに検討がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入学者数をどのような滑動を行う事で回復させるかが課題 	学校法人道灌山学園評議委員名簿
	<input type="checkbox"/> 理事会等は必要な審議を行い、適切に議事録を作成しているか	4				
	<input type="checkbox"/> 寄附行為は、必要に応じて適正な手続きを経て改正しているか	4				
2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか	<input type="checkbox"/> 学校運営に必要な事務及び教学組織を整備しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員組織の概要に基づいて運営されている。 ・より良い組織作りの為に見直し、手直しを毎年行っている。 ・総務・管理部、経理人事部、人事部、学務部、教務部、学部、学生部に分けて担当している。 ・会議、委員会等の議事録は毎回適切に記録されている。 ・必要に応じて規則・規程等整備し、管理している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各部署が責任を持って問題に取り組んでいるが、更に活発化されるとより良い形が期待される。 ・部門間の意見交流が見られるが、不足部分に対して立て直しにつながる即効性が必要とされる。 ・個々人の経験で慣習的に進められている部分が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各部門が前向きに問題に対して取り組む姿勢が見られ今後も更に進めて欲しい。 	教職員組織の概要
	<input type="checkbox"/> 現状の組織を体系化した組織規程、組織図等を整備しているか	4				
	<input type="checkbox"/> 各部署の役割分担、組織目標等を規程等で明確にしているか	4				
	<input type="checkbox"/> 会議、委員会等の決定権限、委員構成等を規程等で明確にしているか	4				
	<input type="checkbox"/> 会議、委員会等の議事録(記録)は、開催毎に作成しているか	4				
	<input type="checkbox"/> 組織運営のための規則・規程等を整備しているか	4				
	<input type="checkbox"/> 規則・規程等は、必要に応じて適正な手続きを経て改正しているか	4				

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
2-4-2 続き	□学校の組織運営に携わる事務職員の意欲及び資質の向上への取組みを行っているか	4	誠実に着実に本業務にあたり、責任部署の仕事内容に対して職務を果たしている。	仕事内容が多岐に渡り、専門性を帯びてくるので一人の責任の重さがかかってくる。	庶務の内容について共通理解しておくこと業務の内容を互いに理解しあえる。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教職員組織の職務分担に基づいて、職務は責任を持ち果たしているが、重複し易い業務が曖昧な部分において不十分な箇所が見られ責任の部署を明確にしながら進めていく。	昨年度に引き続き今年も、新型コロナウイルス感性症対策のために安全衛生委員会を複数回行い検討した。

最終更新日付	令和6年2月3日	記載責任者	高橋 系治
--------	----------	-------	-------

2-5 人事・給与制度

小項目	チェック項目	評価	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか	□採用基準・採用手続きについて規程等で明確化し、適切に運用しているか	4	採用手続きについて明確化し、適切に運用されている。	学校の組織も小さく、制度として全て明確になっていない。 給与支給等に関する基準・人事考課の実態は公表されていない。	人事採用の制度は、運用の中で徐々に確立していく。 良い人材が良い学生の確保は、学校存続の要であり、その為には、人事・給与制度は大変重要。 引き続き改善に向けて検討を重ねていく。	道灌山学園給与規程
	□適切な採用広報を行い、必要な人材を確保しているか	3	学外の力も利用しながら採用を進めている。			
	□給与支給等に関する基準・規程を整備し、適切に運用しているか	4	給与規定に基づいて適切に運用をしている。			
	□昇任・昇給の基準を規程等で明確化し、適切に運用しているか	4	昇任・昇給の基準が規程で示されており運用している。			
	□人事考課制度を規程等で明確化し、適切に運用しているか	4	人事考課制度は規定されていないが、分野毎にて適宜進められている。			

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
文部科学省及び厚生労働省の規程に関する人材配置で進めているが、時に要件に満たない時があり、困難を伴う場合が少なからずある。	幼稚園教員養成・保育士養成・介護福祉士専攻科のそれぞれの科の資格要件に合う教員構成が満たされるように努めている。

最終更新日付

令和6年2月3日

記載責任者

高橋 邦子

2-6 意思決定システム

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
2-6-1 意思決定システムを整備しているか	<input type="checkbox"/> 教務・財務等の業務処理において、意思決定システムを整備しているか <input type="checkbox"/> 意思決定システムにおいて、意思決定の権限等を明確にしているか <input type="checkbox"/> 意思決定システムは、規則・規程等で明確にしているか	4 4 4	<p>理事会の基に各組織があり、定時に職員会後を行い課題の具現化を理事会に提案を行っている。</p> <p>職員会議では、議事を進行する者が当番制で行い、誰もが参画意識を持つように工夫している。</p> <p>教員組織の概要図に基づき校長が中心となり明確にして推進している。</p>	毎週職員会議を行い、その都度問題点を提言し、決定必要に応じて理事会、委員に判断を仰ぐ。	<p>毎年繰り返し行えば間違いは無い学校運営は、行えるが、新しいアイデア、新鮮な企画力が活性化に繋がる。</p> <p>小組織の学校運営で発生する、課題に優先順位を付けて一つひとつ解決していきたい。</p>	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
小規模校で意志の疎通をよくするために、教職員がワンフロアにまとまった構図になっているために細かな打ち合わせが直接行え、意思の疎通が図りやすくなっている。	講師も講義時、職員室に声を掛けてから講師室に行くので準備・教材等の手配が滞りなく行える。

最終更新日付

令和6年2月3日

記載責任者

高橋 系治

2-7 情報システム

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
2-7-1 情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか	<input type="checkbox"/> 学生に関する情報管理システム、業務処理に関するシステムを構築しているか <input type="checkbox"/> 情報システムを活用し、タイムリーな情報提供、意思決定が行われているか <input type="checkbox"/> 学生指導において、適切に学生情報管理システムを活用しているか <input type="checkbox"/> データの更新等を適切に行い、最新の情報を蓄積しているか <input type="checkbox"/> システムのメンテナンス及びセキュリティー管理を適切に行っているか	4 4 4 3 3	<p>学生に対する情報管理システム、業務処理に関するシステムを取り入れている。</p> <p>全教員がシステムを理解し情報処理を行っている。</p> <p>適時最新の情報を取り込み学校運営に生かすべく努力している。</p> <p>システムのメンテナンス及びセキュリティー対策を行っているが新たな脅威には追従できていない。</p>	教職員がシステムに関心を持ち、活用する力が育っているが、個人の判断での運用が見られる。	情報の取り扱い方を、具体事例の研究を行い、その精度を上げて行きたい。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
本校では、IT の活用によって、時間の節約、学生の教育環境を格段に良い形を構築している。現在システムの在り方を、理事会等を通じて共有化レベルの均等化を計っていききたい。	学生が IT を活用する事は世の中では、当然の流れとなっており、システムを更に広げていきたい。

最終更新日付	令和6年2月3日	記載責任者	高橋 系治
--------	----------	-------	-------

基準 3 教育活動

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学園の教育の根幹である、</p> <p>（１）保育の心構えに関しては、教育すると言う生きがいのある仕事である。「幼児たちの喜び、保護者の喜び、やがて自分自身の喜びに通ずる」仕事である。</p> <p>（２）心育学では、人を氷山に例えると、水面上の部分は「頭が良い、良い成績、良い」だけで人を評価しがちである。もっと大切なことは、氷山の水中部分に有って、それは、</p> <p>「優しさ、親切、思いやり」などの情操と「やる気、根気、我慢」の意欲でこれが人間性で有り、これを育てることが必要。即ちこの部分を育てることが心育学での教育の根幹である。</p> <p>（３）幼児教育の８則の実践では、①明るい挨拶の一言で心が通ずる②話し合いは栄養になる、③目線をそろえて笑顔で挨拶する、④相手の話を良く聞く⑤謙虚で親切な心をいつも持つ⑥教育の専門職である自覚を忘れない⑦楽しい話題、保育技術を身につける⑧気づいて楽しい保育を行う、以上の実践を呼びかけが大切としている。</p>	<p>教育課程にかかわる委員会を設置し教育課程の見直しを行い、定期的に改訂をすることで、教育の向上を行う。</p> <p>今後教員の資質向上をどのような向上して行ったら良いか検討課題とする。</p>	<p>1966年に教員養成所として創設以来、1万名を超える卒業生を輩出し、教員・保育士・介護福祉士の養成機関として、大きな期待を受けている。</p> <p>その取り組みは、①教育課程 ②授業の充実 ③学生の保育技術・技能の向上 ④研究・監修の参加奨励 ⑤学生確保 ⑥就職指導の徹底 ⑦教育相談活動の充実に裏付けられると考えている。</p>

最終更新日付

令和6年2月3日

記載責任者

高橋 系治

3-8 目標の設定

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題	今後の改善方策	参照資料
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	□教育課程の編成方針、実施方針を文書化するなど明確に定めているか	4	教育課程の編成方針、実施方針はシラバス集に記載し、教職員及び学生にも配布して理解が出来る様に推進している。	理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を今後も定期的に見直して確約したい。	社会状況に応じて変革しなければならない部分、守っていくべき姿、的確に考える必要がある。	学生のしおり シラバス集
	□職業教育に関する方針を定めているか	4				
3-8-2 学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	□学科毎に目標とする教育到達レベルを明示しているか	4	学科毎の教育到達レベルは、シラバス集に明示し、教育到達レベルは、適宜判断を行い適正に運用している。 資格・免許の取得指導・支援体制を明確にしながら行っている。	目標の達成について、学生ごとに把握し、細かく指導を行わなければならない。	把握に基づき指導のねらいを再確認する。	シラバス集
	□教育到達レベルは、理念等に適合しているか	4				
	□資格・免許の取得を目指す学科において、取得の意義及び取得指導・支援体制を明確にしているか	4				
	□資格・免許取得を教育到達レベルとしている学科では、取得指導・支援体制を整備しているか	4				

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
心を育てる」明確な本校の教育目標を掲げ、実践的な保育者、介護者を養成することを目指している。シラバスには、授業計画のみならず、指導展開、成績の評価の方法等も明確に定めている。	学生に意欲に差があり、バランス良く力を付けるにはどうしたらよいか、指導上の課題が大きい。

最終更新日付	令和6年2月3日	記載責任者	高橋 系治
--------	----------	-------	-------

3-9 教育方法・評価等

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課 題	今後の改善方策	参照資料
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	<input type="checkbox"/> 教育課程を編成する体制は、規程等で明確にしているか <input type="checkbox"/> 議事録を作成するなど教育課程の編成過程を明確にしているか <input type="checkbox"/> 授業科目の開設において、専門科目、一般科目を適切に配分しているか <input type="checkbox"/> 授業科目の開設において、必修科目・選択科目を適切に配分しているか <input type="checkbox"/> 修了に係る授業時数、単位数を明示しているか <input type="checkbox"/> 授業科目の目標に照らし、適切な教育内容を提供しているか <input type="checkbox"/> 授業科目の目標に照らし、講義・演習・実習等、適切な授業形態を選択しているか <input type="checkbox"/> 授業科目の目標に照らし、授業内容、授業方法を工夫するなど学習指導は充実しているか <input type="checkbox"/> 職業実践教育の視点で、科目内容に応じ、講義・演習・実習等を適切に配分しているか	4 4 4 4 4 4 4 4 4	<p>文部科学省・厚生労働省の指定された科目を授業に取り入れ、適切に設定されている。</p> <p>教務部が教育課程を編成し、実施する体制が出来ている。</p> <p>学生自身が学修成果を振り返る為の履修の活用が有効に適切に設定されている。</p> <p>教育課程の中に、専門科目・基礎科目・教養科目に示され、適切に構築され進めている。</p> <p>授業には、講義・演習・実技・実習の形で各科目適正な形でおこなわれている。</p> <p>授業科目の目標に照らし、学生の興味・集中力に合わせて、様々な工夫をしながら授業が展開されている。</p>	<p>領域に関する専門的事項について必修科目として確実に履修する事が義務付けられその見直しを速やかな改善が必要である。</p>	<p>法改正に伴う教科目名の変更と単位・時間数の変更が速やかに調整することが出来た。今後も速やかな対応をする。</p>	授業の概要

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
3-9-1 続き	<input type="checkbox"/> 職業実践教育の視点で教育内容・教育方法・教材等について工夫しているか <input type="checkbox"/> 単位制の学科において、履修科目の登録について適切な指導を行っているか <input type="checkbox"/> 授業科目について授業計画（シラバス・コマシラバス）を作成しているか <input type="checkbox"/> 教育課程は、定期的に見直し、改定を行っているか	4 4 4 4	<p>理論と実践を合わせ、実践的な指導する力を身につけるための工夫を行っている。</p> <p>授業科目においては、シラバス・コマシラバスを作成し、内容については自己採点し見直し、授業評価を通じて改善を行っている。</p>	<p>豊かな内容・方法にする教育環境を整備し実践出来る工夫が必要と考えられる。</p> <p>授業時間割は、年々複雑に構成されるが、その年度、年度で見直し授業の確保をしている。</p>	<p>今後どのような方法が一番学生に実力を付けることが出来るか考え、実践教育をおこなう。</p> <p>土曜日の扱い・音楽Ⅱの様な個人の技量を高める豊作が難しい。</p>	
3-9-2 教育課程について外部の意見を反映しているか	<input type="checkbox"/> 教育課程の編成及び改定において、在校生・卒業生の意見聴取や評価を行っているか <input type="checkbox"/> 教育課程の編成及び改定において、関連する業界・機関等の意見聴取や評価を行っているか <input type="checkbox"/> 職業実践教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか	4 4 4	<p>前期・後期毎に授業評価を行い講師先生方の指導の見直し、授業の改善を行っている。</p> <p>指導大学であるお茶の水大学の指導意見を反映し、また、実習先、就職した卒業生の意見を反映するようにしている。</p>	<p>授業評価の意見は個別に取り行っているが、全体の取り組みとして生かされていない。</p> <p>指導大学からの意見を受け止め、次への展開を計るまでに時間が掛かる。</p>	<p>多方面の意見を聞きながら、更に良い内容に展開出来る工夫を迅速に重ねることが大切。</p>	
3-9-3 キャリア教育を実施しているか	<input type="checkbox"/> キャリア教育の実施にあたって、意義・指導方法等に関する方針を定めているか <input type="checkbox"/> キャリア教育を行うための教育内容・教育方法・教材等について工夫しているか	4 4	<p>キャリア教育の実施にあたり、意義や指導方法について、キャリア教育に付いての教育内容・教育方法・教材について工夫している。</p>	<p>教育課程の中にキャリア教育についての位置付けが必要である。</p>	<p>キャリア教育については、今後共検討を重ね良いシステムを構築していく。</p>	

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
3-9-3 続き	□キャリア教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか	4	実習巡回指導で意見聴取を行い、その反省を次に生かすように行っている。	卒業生の意見は、大変貴重な情報が多い。今後どのように蓄積し活用するかが課題である。	卒業生よりこの頃の学生の質が変わったと指摘を受ける。この違いをどのように蓄積し指導に反映させるか検討する。	
3-9-4 授業評価を実施しているか	□授業評価を実施する体制を整備しているか □学生に対するアンケート等の実施など、授業評価を行っているか □授業評価の実施において、関連業界等との協力体制はあるか □教員にフィードバックする等、授業評価結果を授業改善に活用しているか	4 4 4 4	前期・後期で授業評価を行い、その意見はフィードバックされ授業の改善に活用されている。 実習の現場からは、現状にあった対応を身につけた実習生が求められ、現場の職員として直ぐに対応出来る職員の育成が求められている。 教員に渡された授業評価を見て改善に効果的に反映されている。	授業評価をする事でその意見は次半期授業に適格に反映したいが解析に手間がかかり遅れ気味となっている。	毎回最終講義は定期試験が行われるために2回前にホームルームで評価を配り回収する等、早期の回収分析を心掛ける。 安安静かなフリーアンサーを有効に活用するように伝える。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
文部科学省・厚生労働省から指定された学科全てを教育課程に入れて、体系的適切に設定している。シラバス作成に当たっては、学生が意欲的に学べる授業、具体的な事例に沿った授業を展開して頂いている。それは授業評価、より読み込むことが出来、検討を重ね客観的に積み上げていくことが重要と考える。	保育士・幼稚園教員のニーズが社会情勢より高まりを見せている。就職先より良い記保育者・良き教員の要望が出され学園に大きな期待が寄せられている。 コロナ禍でやむを得ずオンライン授業を行ったが、オンライン授業も有効な面もあり、科目によっては積極的に活用することで教育効果を上げられることも考えられ、研究課題としたい。

最終更新日付	令和6年2月3日	記載責任者	高橋 系治
--------	----------	-------	-------

3-10 成績評価・単位認定等

小項目	チェック項目	評価	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
3-10-1 成績評価・ 修了認定基準を明 確化し、適切に運 用しているか	<input type="checkbox"/> 成績評価の基準について、 学則等に規定するなど明確 にし、かつ、学生等に明示し ているか <input type="checkbox"/> 成績評価の基準を適切に 運用するため、会議等を開く など客観性・統一性の確保に 取組んでいるか <input type="checkbox"/> 入学前の履修、他の教育機 関の履修の認定について、学 則等に規定し、適切に運用し ているか	4 4 4	<p>成績の評価の基準につ いては学則第3章 履修 方法・課程修了認定及び 卒業（単位の授与）第1 0条で明記され、学生し おりに知らせている。 職員会議には、学生の 授業態度並びに成績につ いても意見交換がされて いる。</p>	<p>教科科目については担当 教員の評価を尊重し客観 的に対応し、個別の指導 の必要な場合にはその都 度クラス担任からその状 況を聞くことがある。そ の後の指導に生かす必要 がある。</p>	<p>教職員会議において全て の科目の報告を行い、客 観的な対応を確認してい る。</p>	<p>学生しおり<学生 便覧> 学則</p>
3-10-2 作品及び技 術等の発表におけ る成果を把握して いるか	<input type="checkbox"/> 在校生のコンテスト参加 における受賞状況、研究業績 等を把握しているか	4	<p>保育技術発表会・保育 研究発表会・ピアノ発表 会・合唱交換会等行い推 奨している。対外的な活 躍で全国大会に参加出場 で秀でた成績の学生を集 会等で学内でも紹介し、 表彰する時を持つ。</p>	<p>個々の学生のスキルアッ プの為にクラス担任は時 間・場所・教材を提供し支 えている。確実にを行うこ とで</p>	<p>学生は自主活動に対して は意欲的に取り組む所あ り大切に育てていく。</p>	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>教育課程に示された科目を1年間・2年間又は3年間の学年末に全職員参加による成績判定会議を開き、一人ひとりの成績を取り上げ問題点の検討をする。</p>	<p>成績優秀者には、何らかの形で認めて伸ばす事も検討する。</p>

3-11 資格・免許の取得の指導体制

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	<input type="checkbox"/> 取得目標としている資格・免許の内容・取得の意義について明確にしているか <input type="checkbox"/> 資格・免許の取得に関連する授業科目、特別講座の開設等について明確にしているか	4 4	<p>入学説明会の際に志のある事が大切との考えから、資格・免許の内容について繰り返し説明している。</p> <p>授業科目についてクラス担任から説明し、特別講座については年間計画で推進している。</p>	目標を持ち入学したにもかかわらず、時に他力本願になる者がおり、ホームルームで保育者・介護者の意識を高める工夫が必要である。	同じ志を持つ者同士が目標を持ちながら生活を通じ高い意識を維持するように指導強化する。	
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか	<input type="checkbox"/> 資格・免許の取得について、指導体制を整備しているか <input type="checkbox"/> 不合格者及び卒後の指導体制を整備しているか	4 4	<p>資格・免許の取得について担当教員が指導している。</p> <p>成績不振の為再履修の場合、次年度に履修させる</p>	卒業後の指導体制については、研修会開催し卒業後も勉強出来る環境を整える必要がある。	年間計画での実践が必要である。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育課程に示された、教科科目を履修する事で資格が、取得出来る。講義・演習・実習・実技等丁寧に学ぶことで得ることが出来る	常に目標意識を学校生活に位置付けておくことで、目標を見失わないようにする。

最終更新日付	令和6年2月3日	記載責任者	高橋 系治
--------	----------	-------	-------

3-12 教員・教員組織

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	□授業科目を担当するため、教員に求める能力・資質等を明確にしているか	4	資格要件を備えた教員を配置している。 教員として採用する際に必要な資格等確認し書類を提出して頂いたのち、面接し決定している。 保育・介護の分野で活躍された方々から、推薦して頂き、その活動実績を参考にして人材評価の上採用している。 専任・兼任年齢構成、男女比等考慮し、非常勤講師についても若手の採用を考慮する。 教員一人あたりの授業回数、及び学生数を検討して時間割を組んでいる。	教員の配置については学生を育てる重要な部分となるだけに中期・長期視点に立って計画し適切な人事配置が出来る様に進めて行く必要がある。 授業科目依頼する場合の資格要件に適合する研究業績が不足するケースが多い。研究日、環境、費用に関する考慮が課題。	人件費との関わりから、財政面での検討も視野に入れながら進めて行く必要がある。	
	□授業科目を担当するため、教員に求める必要な資格等を明示し、確認しているか	4				
	□教員の知識・技術・技能レベルは、関連業界等のレベルに適合しているか	4				
	□教員採用等人材確保において、関連業界等と連携しているか	3				
	□教員の採用計画・配置計画を定めているか	3				
	□専任・兼任（非常勤）、年齢構成、男女比など教員構成を明示しているか	3				
	□教員の募集、採用手続、昇格措置等について規程等で明確に定めているか	3				
	□教員一人当たりの授業時数、学生数等を把握しているか	4				

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか	<input type="checkbox"/> 教員の専門性、教授力を把握・評価しているか <input type="checkbox"/> 教員の資質向上のための研修計画を定め、適切に運用しているか <input type="checkbox"/> 関連業界等との連携による教員の研修・研究に取り組んでいるか <input type="checkbox"/> 教員の研究活動・自己啓発への支援など教員のキャリア開発を支援しているか	4 3 3 4	<p>教員の資質向上の研修は個々に委ねられている。</p> <p>介護では、研修会がありそれに参加する事によりグレードアップが計られている。</p>	<p>教員の専門性、教授力を把握・評価は早急に進めていく必要がある。</p> <p>研修会等参加を推奨していくことで教員の向上につなげていきたい。</p>	<p>学園の中では、研究紀要に掲載することで各自の研修報告が出来る機会としたい。</p> <p>意欲的に外部団体の紀要に投稿し、共同研究者として研究成果を発表する教員もおり、推進している。</p>	研究紀要
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> 分野毎に必要な教員組織体制を整備しているか <input type="checkbox"/> 教員組織における業務分担・責任体制は、規程等で明確に定めているか <input type="checkbox"/> 学科毎に授業科目担当教員間で連携・協力体制を構築しているか <input type="checkbox"/> 授業内容・教育方法の改善に関する組織的な取組があるか <input type="checkbox"/> 専任・兼任（非常勤）教員間の連携・協力体制を構築しているか	4 4 4 4 4	<p>教員組織の体制を整備している。</p> <p>教員組織における業務分担責任体制は、組織図で示されている。</p> <p>学科毎の授業科目担当教員間で話し合いの上進められている。</p> <p>講師会等の機会を利用して関連する科目の繋がりから連絡を取り合う時となっている。</p>		<p>決まった時間、決まった曜日での講義であるために横の繋がりが乏しい事が見られる。</p> <p>時間割変更等があるとあらたな協力体制が生まれそんな機会を大切にしたい。</p>	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
研究紀要に研究の成果を掲載することで各教員の研究を発表する場とし意識向上に努めている。	研究日、環境、費用に関し考慮すると共に、成果の表出の機会の付与。

最終更新日付	令和6年2月3日	記載責任者	高橋 系治
--------	----------	-------	-------

基準 4 学修成果

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>入学してから卒業までの学生生活を真面目に取り組む者が多い為、学習面に対して、真剣に取り組んでいる。その為資格取得率も高く卒業後の社会的評価からも、学修成果は高く評価出来る。</p> <p>一方目標を見失いがちな学生も見られ、学修意欲、欠席が見られる様になると、学生指導を丁寧に行うようにしている。個別の相談時には、家族含めての話し合いにあることもある。</p> <p>基本的な生活習慣や日常生活の中の社会的マナーが身につけていない行動が見られる。それについては、学生集会やホームルームの際に話す等、学生指導に努力を重ねていきたい。</p> <p>施設実習などコロナ禍に有って、学内演習に切り替えて行ったが、現場実習との差異の検証が必要。</p>	<p>教育課程に加えて、特別講義や実習講義、実習報告会、就職ガイダンス等組み入れた講義はあるものの時間割の関係より、効果的に取り入れていくようにしたい。</p> <p>付属園でのイベントに参加することで、日常生活のみならず、幼児の生活の色々な活動が、学べるよい機会となっている。</p> <p>イベントには、学生の企画した充実した時間、参加園児は、学生さんとの触れ合いの楽しさを感じずる養成校ならではの、経験する時間となっている。</p>	<p>就職については、卒業した諸先輩方の活躍による信頼と実績が安定した就職率を保ち、保育者不足が追い風となり安定した就職の場を確保している。</p> <p>就職を希望する学生は、就職ができる状況は、ここ数年間は大丈夫との見方であるが、待機児が解消された後は、しつが問われることとなるので一人ひとりの力が試される時代となる。力のある学生の育成が増々大切である。引き締めてかからなければならないと思われる。</p>

最終更新日付	令和 6 年 2 月 1 7 日	記載責任者	阿部 恵
--------	------------------	-------	------

4-13 就職率

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
4-13-1 就職率の向上が図られているか	<input type="checkbox"/> 就職率に関する目標設定はあるか	4	就職指導では、学生と個別面談をし、就職について希望を聞き、個別に対応している。就職情報が溢れ、学生の希望と一致した際に就職試験を受けることで、就職後の問題が少ないように情報を提供している。就職率のデータは、就職担当者が管理している。	近年企業系の求人が多く寄せられている。学生のどのように企業形の求人に対して対応するか指導が難しいところがある。在学生より就職件数が多い中での選択は、学生自身が求人票からどのような会社かを読み込むかが難しい面がある。	株式会社からの求人が多く寄せられるようになっている。就職を決定するにあたり、就職担当教員と問題点を話し、納得のいく決定になるようにしたい。実習先の付き合いのある幼稚園・保育園に対してもよい関係になるように心がけていきたい。	学生のしおり<学生便覧> 就職のしおり 求人票
	<input type="checkbox"/> 学生の就職活動を把握しているか	4				
	<input type="checkbox"/> 専門分野と関連する業界等への就職状況を把握しているか	4				
	<input type="checkbox"/> 関連する企業等と共催で「就職セミナー」を行うなど、就職に関し関連業界等と連携しているか	4				
	<input type="checkbox"/> 就職率等のデータについて適切に管理しているか	4				

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
求人数が多いことは、学生にとり選択肢が有り選択に迷っている事が多くみられる。職業意識と現実との差が起らないように就職指導を丁寧に行い、就職希望のある物は希望が叶っている。学生も就職することに対して積極的である。	待機児童が多く保育園の増設が言われ始めてから求人数が増加傾向にある。就職を希望する者は100%達成しており、今年は幼稚園と保育園の割合の差は少し縮まり、幼稚園への就職が増加した。

最終更新日付	令和6年2月17日	記載責任者	阿部 恵
--------	-----------	-------	------

4-14 資格・免許の取得率

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
4-14-1 資格・免許 取得率の向上が 図られているか	<input type="checkbox"/> 資格・免許取得率に関する目標設定はあるか	4	資格・免許取得率の目標は、達成しているが、未到達の学生に対しては、個別指導を含め確実な指導を行っている。 特別講座、授業を補完する学習の支援の取り組み補講を行っている。	日頃の授業が資格・免許に取得に必要な勉強であることを認識する自覚を持たせることが大切と考える。	日常に流され、ややもすると勉強の意義・学生の目標を見失うことがある。授業で勉強していることが前向きにとらえられるようにクラス担任・講師から動機付けを行う。	シラバス集 出席簿 学籍簿
	<input type="checkbox"/> 特別講座、セミナーの開講等、授業を補完する学習支援の取組はあるか	4				
	<input type="checkbox"/> 合格実績、合格率、全国水準との比較など行っているか	4				
	<input type="checkbox"/> 指導方法と合格実績との関連性を確認し、指導方法の改善を行っているか	4				

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
幼稚園教員資格・保育士資格・介護福祉士資格が卒業と同時にとれることに教職員全力を挙げて指導に励み、時には厳しく、時には寄り添いながら指導に当たり、学生も指導に応えている。 資格を生かした仕事に大半が就職しているので、専門学校の生きる姿を理解している。	卒業後の進路を見ると、保育園 50%、幼稚園 34%、介護科への進学 5%、こども園と施設 10%と創設時に比べ幼稚園への就職が少なくなっている。

最終更新日付	令和6年2月17日	記載責任者	阿部 恵
--------	-----------	-------	------

4-15 卒業生の社会的評価

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	<input type="checkbox"/> 卒業生の就職先の企業、施設・機関等を訪問するなどして卒後の実態を調査等で把握しているか <input type="checkbox"/> 卒業生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握しているか	4 4	同窓会の際、実習訪問、卒業生来校の際等、情報交換が行われ卒業生の活躍を確認できる。卒業生が、研究を応募し優秀賞をとったり、佳作に入ったりその時の活躍は学校に報告が入る。	卒業後意識的に現場で活躍する姿の収集が不十分である。卒業生の話を聞く時間を作り活躍情報を集め提供し、連鎖に繋げていきたい。	同窓会と学園とのかかわりは大切である。今後収集、蓄積し提供する、連携の方向性をしっかりしたものにしていきたい。	同窓会名簿

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
本校創立57年の歳月が過ぎた。卒業生が、幼稚園・保育園・こども園・児童館・介護施設等多くの施設の経営として者、責任者として、中心的な役割を果たしている卒業生が多く輩出している。後に続くものはこの活躍を大切にしながら続いてほしいと考えている。	卒業後の活躍状況を伝える情報シートを検討していきたい。 施設、事業所の責任者として活躍しているものが多く、本校での特別講義の講師として毎年、後輩への指導を依頼している。

最終更新日付	令和6年2月17日	記載責任者	阿部 恵
--------	-----------	-------	------

基準 5 学生支援

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>心身の健康が学校生活の中で大切と考え、入学早々1学期オリエンテーション時に、健康診断が行われている。内科検診では、様々な相談を交えて話をする時間としている。そして気になる様子がある場合には、早期の検査を進めている。クラス担任との話の中で、保護者を交えての話し合いが必要となるとに連絡を取る。</p> <p>経済面での支援は、学生支援機構や各自治体からの支援を利用し、学生の希望がかなえられるような選択を行っている。人材不足もあり保育を志す学生に対して支援の輪が広がるようになってきた。</p> <p>学生の個々の問題は、クラス担任、副担任を中心に個人相談を受ける体制を敷いている。</p> <p>就職・進学指導では、無料職業紹介の承認を受けて行っている。就職指導担当の教員を中心にガイダンスを行い、職業に対する意識付けや、具体的な指導を行い、就職に対する希望等聞き個々の学生に似合った活動を展開している。</p> <p>働きながら学ぶⅡ部の学生には、幼稚園・保育園の助手先の就職を進めている。</p>	<p>会の複雑な環境から、心の悩みを持つ学生が増えている。そのような学生に対して専門のカウンセラーの必要性が出てきている。</p> <p>体調を崩す等、体調不良が出た場合、保健室で休ませて場合によっては、校医の診察を受けて帰宅させる等、学生自身の自らの健康管理の在り方に検討がなされる。</p> <p>家族の生活を支えながら学ぶ学生の増加がみられる。そのような学生に対して、支援体制について授業料の分納、奨学金についてできるだけ学びやすい環境で支援できる体制を整備が必要である。</p> <p>多くの学生にとり、最終の学習の機会となりその勉学が、そのまま職業につながっていくケースが多い。将来の人生の生き方を見出す時でもあるのでその指導が重要となるので最善の方法で支援していきたい。</p>	<p>学生相談は、クラスの担任・副担任が学生の話をよく聞き対応している、健康相談については、必要に応じて校医が受入れる体制を整えた。</p> <p>長年の教員養成、介護士の養成は、保育や介護の現場より信頼される関係を構築できた。その状態を今後も維持していくには、歴史や実績に甘んずることなく謙虚に受け止めて学生を誠実に指導することで、100パーセントの就職率を維持している。</p> <p>日本学生支援機構、東京都育英資金、各自治体の補助金を活用しながら支援を行っている。学校独自の奨学資金制度や減免制度は設けていない。</p> <p>将来的に学生数を確保するためにも考慮しなければならない案件である。</p> <p>保育科の卒業学年の学生は、保育技術発表会を行い、介護科では介護体験発表会等の活動、内容が年々充実しグレードの高いものに引き上げられている。</p> <p>卒業生の活躍が現在の学校を支えている</p>

最終更新日付

令和6年2月3日

記載責任者

高橋 系治

5-16 就職等進路

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	□就職など進路支援のための組織体制を整備しているか	4	就職の進路支援のために専任の教員による相談支援を行っている。	就職に関して、学生は自分の目で資料を読込み積極的に情報を取り入れて動いているが、なお資料を充実する必要はある。 受験の段取りについて就職先と連絡をとる、面接日、持参資料、労働条件等細かな取り交わしを行う。 1年生の後半より就職のために学生に準備する心構えを具体的に説明していく	卒業生から、就職してからの話はよい機会であるので回数が増やせたら良いと考える。 定例の教職員会で就職の状況を、就職担当教員より報告を受け共有化している。 業界等との就職についての話し合いは、今後とも状況を知るうえで重要なところである。 保証人に対する保護者に対して十分な説明が今後必要としたい。 自己実現に向けて今後どのように育てるとよいか構築したい。	就職のしおり 求人票 卒業生就職一覧表 過去の就職問題・記録
	□担任教員と就職部門の連携など学内における連携体制を整備しているか	4	前期後半になると学生に就職資料を提供し、資料からこれからの方向性を考える時間としている。			
	□学生の就職活動の状況を学内で共有しているか	4	地域別の説明会に参加し、東京、埼玉は積極的に情報を収集している。			
	□関連する業界等と就職に関する連携体制を構築しているか	4	履歴の書き方、面接の受け方等、必要な具体的な指導を行い、何回か添削する等きめ細かい指導を行っている。			
	□就職説明会等を開催しているか	4				
	□履歴書の書き方、面接の受け方など、具体的な就職指導に関するセミナー・講座を開講しているか	4				
	□就職に関する個別の相談に適切に応じているか	4				

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
就職担当の教員を中心に、クラス担任・副担任等学生に関わる教員が連携を図りながら、学生の就職に対する意識付けをしたい。	就職を希望する学生が保育・教育・介護の現場に就職をしている。

最終更新日付

令和6年2月17日

記載責任者

阿部 恵

5-17 中途退学への対応

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
5-17-1 退学率の低減が図られているか	□中途退学の要因、傾向、各学年における退学者数等を把握しているか	4	中途退学者の要因、傾向、把握している。 指導経過はその学生の話の聞き、保護者からも聞き事情を保存している。 クラス担任、副担任、校長と問題に応じて校医が加わり指導している。 欠席状況が一番に現れる行動であるので出席管理がポイントになる。	要因、傾向を洗い出しその対応を検討している。様々な要因が見られ丁寧な対応が求められる。 実習をきっかけに退学一気に心が向かってしまうことがあり、その、声掛けは慎重でなければならない。 実習は保育を志す者の窓口となるので何が支障になっているか」分析を要する。	遅刻が多い者は、次は欠席に結びつくケースが見られる。問題行動に結びつく前に、話し合い原因を気づかせる。 学生の様子については、クラス担任が記録し指導に役立てる必要性がある。 保護者をふくめて話し合いを繰り返すことで改善に方策を見出すこともある。早期の指導が大切である。	学生便覧
	□指導経過記録を適切に保存しているか	4				
	□中途退学の低減に向けた学内における連携体制はあるか	4				
	□退学に結びつきやすい、心理面、学習面での特別指導体制はあるか	4				

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
大方の学生は、保育の資格、介護の資格を得て卒業していくが、その中で目的意識を見失い退学する者がある。精神的に落ち込んでしまう行動が見られたとき、何が要因であるか早期の対応が求められる。	中途退学する学生は、家庭の事情や心の要因があることが多い。保護者を含めて三者面談を行う等の対応をしている。

最終更新日付	令和6年2月3日	記載責任者	阿部 恵
--------	----------	-------	------

5-18 学生相談

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> 専任カウンセラーの配置等相談に関する組織体制を整備しているか <input type="checkbox"/> 相談室の設置など相談に関する環境整備を行っているか <input type="checkbox"/> 学生に対して、相談室の利用に関する案内を行っているか <input type="checkbox"/> 相談記録を適切に保存しているか <input type="checkbox"/> 関連医療機関等との連携はあるか	3 4 4 4 4	<p>クラス担任から校長へ、相談の内容によって、校医に連絡する。</p> <p>気になる出来事や、状況において相談できる体制をととのえている。</p> <p>相談室利用はクラス担任より案内している。</p> <p>相談記録は、クラス担任、副担任何れかが適切に管理している。</p> <p>校医と相談の上紹介を進めている。</p>	<p>クラス担任が相談を受ける窓口となり行っているが、フォローアップの体制は不十分である。</p> <p>必要に応じて他の教職員が対応している。</p> <p>守秘義務の発生する内容も含まれるため、慎重な対応が必要。</p> <p>相談記録は、聞き取りした内容を記入して保存している。</p> <p>必要に応じて医療機関と連携して対応も必要。</p>	<p>件数増加に合わせて、専門のカウンセラーの常勤は検討していきたい。</p> <p>クラス担任が、一人ひとりの様子を把握し記録することが大切でその中から改善の方策を見出していく。</p> <p>問題が多様化し、複雑な相談内容多くが見られ、経過記録を取り、医療機関とも連携を取る。必要性のある場合には、校医と相談し紹介する。</p>	
5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> 留学生の相談等に対応する担当の教職員を配置しているか <input type="checkbox"/> 留学生に対して在籍管理等生活指導を適切に行っているか <input type="checkbox"/> 留学生に対し、就職・進学等卒業後の進路に関する指導・支援を適切に行っているか <input type="checkbox"/> 留学生に関する指導記録を適切に保存しているか		<p>現在留学生の在学はない。</p>			

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>毎日行われるホームルームの中での会話から、クラス担任、副担任が学生の様子を把握しやすく、日常の話から、個々の相談に及ぶことがある。生活が複雑化し、人間関係も多様化している事で、この時期に起こりうる諸問題を抱える傾向がある。複雑な心の問題を抱える学生の対応は、専門職の配属で対応していきたい。</p>	<p>学生生活において、日常のクラス担任とのやり取りの中から話を素直に聞き問題性を感じる。この手法は自然な方法で学生も気楽に話し合うことからスタートし、一歩踏み込んだことが必要となった際に指導していきたい。</p>

最終更新日付	令和6年2月3日	記載責任者	高橋 系治
--------	----------	-------	-------

5-19 学生生活

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> 学校独自の奨学金制度を整備しているか <input type="checkbox"/> 学費の減免、分割納付制度を整備しているか <input type="checkbox"/> 大規模災害発生時及び家計急変時等に対応する支援制度を整備しているか <input type="checkbox"/> 全ての経済的支援制度の利用について学生・保護者に十分情報提供しているか <input type="checkbox"/> 公的支援制度も含めた経済的支援制度に関する相談に適切に対応しているか <input type="checkbox"/> 全ての経済的支援制度の利用について実績を把握しているか	3 4 3 4 4 4	<p>日本学生支援機構、東京都育英資金、各自治体の補助、介護福祉士の補助を活用しながら、進めている。</p> <p>大規模災害発生時には自治体と相談し家計の急変時には個別相談に応じている。</p> <p>入学後速やかに説明会を開き、情報を提供している。学生の家庭の様子に応じて適切に対応している。</p> <p>入学前より経済的支援が必要なケースについては、適切に運用している。</p>	<p>入学時に同時に手続きが進められ、奨学資金の制度が理解させ継続しフォローする。</p> <p>学費は各学生の経済状態に合わせて、分納制度を選択する等の指導をしていきたい。</p> <p>公的支援制度は、必要な支援が行えるように対応しているが、十分知らしめているとはいえない。</p> <p>利用実績を明確にしていきたい。</p>	<p>学校独自の奨学金制度を今後検討していきたい。</p> <p>分納制度のあるために入学が可能となっている学生もいることから、これからもこの制度があることを知らせていきたい。</p> <p>入学説明会等、入学前に知らせることが支援制度を有効に利用される方法となる。</p>	
5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> 学校保健計画を定めているか <input type="checkbox"/> 学校医を選任しているか <input type="checkbox"/> 保健室を整備し専門職員を配置しているか <input type="checkbox"/> 定期健康診断を実施して記録を保存しているか <input type="checkbox"/> 有所見者の再健診について適切に対応しているか	4 4 3 4 4	<p>校医を中心に計画を定めている。</p> <p>保健室を整備し利用者の状況を担当がチェックしている。</p> <p>定期健康診断を実施している。</p> <p>再健診については適切に実施している。</p>	<p>学校行事と健康診断の時期に調整が難しい。</p> <p>学生健康管理担当を中心に連携して指導が不足気味である。</p> <p>定期健康診断の記録は実習の際に利用される。</p>	<p>保健計画は昨年の計画を見直し校医の意見を入れて定めている。</p> <p>新型コロナウイルス感染症のために臨時に、繰り返し対応方法が検討されたが、難しい諸問題があった。</p> <p>健康に関しては自己管理である部分が多いので学生自身の健康管理について意識付けしていきたい。</p>	

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
5-19-2 続き	<input type="checkbox"/> 健康に関する啓発及び教育を行っているか <input type="checkbox"/> 心身の健康相談に対応する専門職員を配置しているか <input type="checkbox"/> 近隣の医療機関との連携はあるか	4 3 4	<p>集会において自己管理を徹底するように随時、話をして意識付けをしている。</p> <p>校医と相談をして対応している。</p>	<p>自己管理の大切さが充分出来ているとは言い難い。</p> <p>実習時に既往歴の件で実習先とトラブルのケースあり。</p>	<p>学生自身、実習する際に自身の育児手帳に予防接種の過去歴が記載されているのが重要であることをあらかじめ認識する必要がある。</p>	
5-19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> 遠隔地から就学する学生のために寮を整備しているか <input type="checkbox"/> 学生寮の管理体制、委託業務、生活指導体制等は明確になっているか <input type="checkbox"/> 学生寮の数、利用人員、充足状況は、明確になっているか	4 4 4	<p>遠隔地からの学生を2つある寮で受け入れている。</p> <p>管理体制が整っている。入寮と同時に両会議を行いそこで寮生活の決まりを確認している。</p> <p>地方からの学生が少なくなった。</p>	<p>年々地方からの入学生の減少傾向が見られる。</p> <p>寮生が集まらなると寮管理も含めて自主運営は難しい。</p> <p>寮生の社会生活が、地域の社会人としてマナーが守れない。</p>	<p>学生寮があることをPRする。</p> <p>入寮時に寮長を決めて運営をさせているが、生活の決まりが守れないことが多い。</p> <p>学校と同じ地域の自治会で生活しているため。ゴミの出し方等ルールを守ることが大切</p>	入寮のしおり
5-19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> クラブ活動等の団体の活動状況を把握しているか <input type="checkbox"/> 大会への引率、補助金の交付等具体的な支援を行っているか <input type="checkbox"/> 大会成績など実績を把握しているか		<p>クラブ活動は、行っていない。</p>			

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>各支援体制を利用しながら学ぶ学生多く見られるようになった。支援体制の有効性を検討し奨学生になった自覚を持ち、将来返済の義務等社会規範を指導していきたい。</p> <p>学生の定期健康診断は健康管理担当が中心になり運営している。</p>	<p>公的支援や各自治体の補助金が必要な学生は、情報をしっかり提供し活用してもらっている。学校独自の奨学制度、減免制度は設けていない。</p> <p>実習前には健康診断書、細菌検査書を実習園に提出し、健康であることを示している。</p>

最終更新日付

令和6年2月15日

記載責任者

重枝 絹子

5-20 保護者との連携

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
5-20-1 保護者との連携体制を構築しているか	□保護者会の開催等、学校の教育活動に関する情報提供を適切に行っているか	4	道灌山学園たよりを発信して、保護者の方に教育活動を理解していただく機会としている。個人面談は申し出のある場合提供している。問題解決にあたり、保護者と適切に連携している。緊急の際は、QRサイトを活用して連絡をとる。	入学前の説明会では多くの保護者に説明する機会は、多いが入学後は直接話をする機会が少ない。 学生・保護者・担任の3者面談の要請に応じきれていない。 ITの活用で、学生・保護者との連絡がスムーズに図れるようになってはいるが、今の機器に合わせた設定に変えていく必要がある。	入学後は、幼児教育発表会、体育祭等の行事にお越しいただく機会を設定しているが、参加は難しい所がある。 希望に応じて、機会を設けている。 学期末には保護者に成績を送付家庭でも関心を持っていただくよう意識付けしている。	道灌山学園たより
	□個人面談等の機会を保護者に提供し、面談記録を適切に保存しているか	4				
	□学力不足、心理面等の問題解決にあたって、保護者と適切に連携しているか	4				
	□緊急時の連絡体制を確保しているか	4				

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
クラス担任と保護者は、連絡の取れる体制がある。 保護者会としての組織はなく、気になる問題がある場合、個別に対応する体制が整っている。	保護者に行事ごとに呼び掛けているが参加者数が多くない。積極的な呼びかけを考える必要がある。

最終更新日付

令和6年2月15日

記載責任者

重枝 絹子

5-21 卒業生・社会人

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> 同窓会を組織し、活動状況を把握しているか <input type="checkbox"/> 再就職、キャリアアップ等について卒後の相談に適切に対応しているか <input type="checkbox"/> 卒業後のキャリアアップのための講座等を開講しているか <input type="checkbox"/> 卒業後の研究活動に対する支援を行っているか	4 4 3 4	<p>同窓会の活動は、若い会員を中心に力を出し合っている。</p> <p>卒業後も学校に訪れ相談を聞き、就職の情報を知らせている。</p> <p>学校主催の研究会の案内に積極的に参加が見られる</p>	<p>同窓会の担当を中心に、親睦会、研修会の参加を呼び掛けているが、幅の広い層まで呼び掛けることが困難。</p> <p>相談があると、就職の紹介等支援体制を整える必要がある。</p>	<p>同窓生は各界で活躍し同窓であると話すとなんか呼ぶかけに力になってくれる。卒業生の力を上手に活用していきたい。</p> <p>保育・介護キャリアアップの講座を今後も検討していきたい。</p>	道灌山学園だより
5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	<input type="checkbox"/> 関連業界・職能団体等と再教育プログラムについて共同開発等を行っているか <input type="checkbox"/> 学会・研究会活動において、関連業界等と連携・協力を行っているか		産学関連の再教育のプログラムは行っていない。			
5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	<input type="checkbox"/> 社会人経験者の入学に際し、入学前の履修に関する取扱いを学則等に定め、適切に認定しているか <input type="checkbox"/> 社会人学生に配慮し、長期履修制度等を導入しているか <input type="checkbox"/> 図書室、実習室等の利用において、社会人学生に対し配慮しているか <input type="checkbox"/> 社会人学生等に対し、就職等進路相談において個別相談を実施しているか	3 3 4 4	<p>入学説明会において説明し、繰り返し理解していただくよう努力している。</p> <p>社会人学生に配慮しているが、入学した後は、同じ体制のもと学を展開してもらっている。</p> <p>社会人学生は、社会経験が深く、他の学生の模範となっている。</p>	<p>保育・介護を改めて学ぶ社会人経験者の入学が減少傾向にある。</p> <p>長期履修制度については、検討していきたい。</p> <p>意欲的に学ぶ環境は整えている。</p>	<p>一度社会に出た経験を生かすことのできる、貴重な人材でもあるので、入学の門徒を広げていきたい。</p> <p>社会人学生として入学した後、幅広い経験が多くの仲間と刺激しあうことができる。輪を広げていきたい。</p>	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>同窓生は、学校で学んだ数々の知識を力にして力強く仕事の現場についている方々が多い。あの時の学びが役立っていると声に改めて初心に帰り教育活動を推進することが大切。</p>	<p>多くの卒業生が、学校で学んだことを土台に活躍している。その卒業生の声を実習訪問で聞くことができる。卒業生の声をフィードバックして在校生にその声を伝え学校の伝統を守りたい。</p>

最終更新日付	令和6年2月17日	記載責任者	阿部 恵
--------	-----------	-------	------

基準 6 教育環境

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>平成 27 年 1 月に 4 年間かかった改築工事が終了し竣工式を迎えることができた。一号館は、教室中心 2 号館は特別教室を備える施設となった。</p> <p>教育に必要な施設・設備・体育用具・音楽関連施設・パソコン関連施設・造形関連施設・図書施設等十分な教育施設として完備することができた。</p> <p>学生が、保育・介護の免許を取得するうえで 必要な環境は提供することができるようになった。</p> <p>音楽環境では、ピアノを練習するために電子ピアノを導入、いつでも練習ができる環境を整えた。</p> <p>図書関係では、調べたいことがいつで探すことができ、勉強したいときに学習できる環境が整った。</p> <p>ハード面は整えることができた。これからはソフト面に力を入れる必要がある。</p> <p>防災に対して安全対策も組織体制を整備している。避難訓練も実施し防災についての安全教育を行っている。</p>	<p>環境面での整備は整い、学生がこの施設を十分に使いこなしていく利用の仕組みと、導きが求められる。</p> <p>実習面では、実習場所の確保が行われている。前年度の実習状況が前向きであると次年度も受け入れが可能となり、良い連鎖が続く、実習園とも良い関係性が継続するように行いたい。</p> <p>3, 11 の東北大震災を受けて、常に起こりうる意識を持ちながら、万全の体制を整え 定期的に避難訓練を行い、学生に危機管理と行動の在り方を知らせたい。</p>	

最終更新日付

令和 6 年 2 月 2 4 日

記載責任者

高橋 系太

6-22 施設・設備等

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	□施設・設備・機器類等は設置基準、関係法令に適合し、かつ、充実しているか	5	施設・設備・機器類とは、施設基準、関係法令に適合し、充実している。	定期的な保安点検、しばらくは大規模な改修は必要ないものと思われる。	これからも点検を丁寧に行い修繕箇所が見られた場合早期の改修を行いたい。保健計画は昨年の計画を見直し校医の意見を入れて見直している。	
	□図書室、実習室など、学生の学習支援のための施設を整備しているか	4	図書室、実習室等、学生の学習支援のために施設を整備している。			
	□図書室の図書は専門分野に応じ充実しているか	5				
	□学生の休憩・食事のためのスペースを確保しているか	4	学生のためのフリースペースは確保されている。			
	□施設・設備のバリアフリー化に取り組んでいるか	5	施設・設備のバリアフリーは改築とともに整った。			
	□手洗い設備など学校施設内の衛生管理を徹底しているか	5				
	□卒業生に施設・設備を提供しているか	4	卒業生が児童文化のサークルを立ち上げ練習場所を提供している。			
	□施設・設備等の日常点検、定期点検、補修等について適切に対応しているか	4	定期的に保安点検が行われている。			
	□施設・設備等の改築・改修・更新計画を定め、適切に執行しているか	4	平成 27 年に全面的な改築が完了し此処しばらくは大きなメンテナンスは必要ないものと思われる。			

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
古い校舎から、平成 27 年 1 月に新しい校舎に改築され教育環境を整えることができた。施設・設備・教育用具も整備し学生には有効な利用の仕方を呼び掛けている。	施設の有効な利用の必要性を呼び掛け、その成果は、自分たちが作り出すものという事を教育している。加えて毎日自分たちが使ったところは、自分たちで掃除する等、当番を決めて自分たちで自主的に行っている。 次の利用者への配慮として当たり前の清掃を行う、社会性も合わせて教育する。

最終更新日付	令和 6 年 2 月 2 4 日	記載責任者	高橋 系太
--------	------------------	-------	-------

6-23 学外実習、インターンシップ等

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> 学外実習等について、意義や教育課程上の位置づけを明確にしているか <input type="checkbox"/> 学外実習等について、実施要綱・マニュアルを整備し、適切に運用しているか <input type="checkbox"/> 関連業界等との連携による企業研修等を実施しているか <input type="checkbox"/> 学外実習について、成績評価基準を明確にしているか <input type="checkbox"/> 学外実習について実習機関の指導者との連絡・協議の機会を確保しているか <input type="checkbox"/> 学外実習等の教育効果について確認しているか <input type="checkbox"/> 学校行事の運営等に学生を積極的に参画させているか <input type="checkbox"/> 卒業生・保護者・関連業界等、また、学生の就職先等に行事の案内をしているか	4 4 4 4 4 4 5 5 4	<p>学外実習等についての意義や教育課程上の位置付けをして教育を行っている。</p> <p>実習要綱・マニュアルを整備し適切に運用している。</p> <p>関連業界との連携による企業研修等を実施している。</p> <p>成績評価基準を明確に示している。</p> <p>学外実習の実習機関の指導者と連絡・協議を行っている。</p> <p>実習の教育効果について確認している。</p> <p>行事は、学生が計画立案し、自主的に運営させている。</p> <p>卒業生・保護者・4 関連業界等、学生の就職先等に行事の案内をして関心を寄せていただくようにしている。</p>	<p>実習に出る際の心構え等意識付けが十分とは言い難い。</p> <p>実習要綱・マニュアルを構築しているがそれを読み込み、身に着けるまでが一番重要と考える。</p> <p>評価が戻り学生に指導するが、その指導方法を確立したい。</p> <p>学外の実習担当の意見は貴重な話が多い、今後に活かしていきたい。</p> <p>学校行事は、自主的に参画する動きが見られ、就職した後、この自主性が大切と思われる。</p>	<p>より一層学外に出る意識を育てていきたい。</p> <p>実習の重要性と参画の動機付けを教科以外の面からも行っていく。</p>	<p>実習の記録 実習の手引き 実習の評価表</p>

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>教育実習・保育実習・介護実習は免許を取得するためには重要な教育実践に関する科目であることを認識し、学生には、その大切さについて、授業を通じて指導している。実習から戻ってくる学生は達成した喜びと自信を得た表情になる。</p> <p>海外研修は行っていないが、海外の幼児教育に興味を持つ学生が短期間で研修を受けて帰ってくるケースが増えている。</p>	

最終更新日付	令和6年2月24日	記載責任者	高橋 系太
--------	-----------	-------	-------

6-24 防災・安全管理

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	<input type="checkbox"/> 学校防災に関する計画、消防計画や災害発生時における具体的な行動のマニュアルを整備しているか <input type="checkbox"/> 施設・建物・設備の耐震化に対応しているか <input type="checkbox"/> 消防設備等の整備及び保守点検を法令に基づき行い、改善が必要な場合は適切に対応しているか <input type="checkbox"/> 防災（消防）訓練を定期的実施し、記録を保存しているか <input type="checkbox"/> 備品の転倒防止など安全管理を徹底しているか <input type="checkbox"/> 教職員・学生に防災研修・教育を行っているか	4 5 5 4 4 4	<p>学校防災に関する計画、消防計画、災害発生時の具体的なマニュアルを整備している。</p> <p>施設・建物・設備の耐震化は完全である。</p> <p>消防設備等の整備及び保安点検を法令に基づき改善が必要な場合適切に対応している。</p> <p>防火訓練を定期的実施し、記録している</p> <p>備品の転倒防止など安全につとめている。</p> <p>教職員・学生に防災研修・教育を行っている。</p>	校舎の改築が平成 27 年に建て替えた施設・建物・設備は安全であるが、予測のつかない出来事にも対応する心構えが必要である。		消防保守点検 消防計画書 避難訓練計画書 校内配置図
6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	<input type="checkbox"/> 学校安全計画を策定しているか <input type="checkbox"/> 学生の生命と学校財産を加害者から守るための防犯体制を整備し、適切に運用しているか <input type="checkbox"/> 授業中に発生した事故等に関する対応マニュアルを作成し、適切に運用しているか	4 4 4	<p>学校安全計画をたてている。</p> <p>防犯カメラが設置されており、玄関も門は施錠されている。</p> <p>授業中に発生した事故に対して対応マニュアルを作成している。</p>			

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
6-24-2 続き	<input type="checkbox"/> 薬品等の危険物の管理において、定期的にチェックを行うなど適切に対応しているか <input type="checkbox"/> 担当教員の明確化など学外実習等の安全管理体制を整備しているか	4 4	<p>薬品の管理は定期的 に使用期限を確認し、入 れ替えを適切に対応し ている。</p> <p>学外実習での怪我や 事故の対応はクラス担 任が対応しその後、適切 に図られている。</p>			安全衛生委員会議事録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
防災に対する組織体制を整備している。安全管理体制も整っている。	

最終更新日付	令和6年2月24日	記載責任者	高橋 系太
--------	-----------	-------	-------

基準 7 学生の募集と受入れ

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>高校で開かれる学校説明会に積極的に参加し、保育の道を志す者に学園の教育をわかりやすく説明している。新入生の中に、説明会に参加して入学を決めた者が多くいる。直接学生にアプローチする重要性を感じている。対象生徒の多くは、高校在学1年・2年時で志を決定する者も多く18歳人口が減少の中、幅広い層から募集を考えることが大切になる。</p> <p>入学選考は、AO入試は行っていない。学生の学力を見て選考を行っている。学力が不十分な者は、入学してから授業についていけないケースが散見されるため選考を行っている。入学選考基準は、明確にされ適切に選考が行われている。</p>	<p>学生募集時には多くの情報が集まるのでそのデータを適切に蓄積し分析することが重要と考える。</p> <p>18歳人口の減少に伴い、毎年受験してくださる高校の先生方に、入学した学生の活躍を知らせる方法を模索したい。</p> <p>入学選考では、このところ受験者数の減少傾向がみられるので短時間で学生の本質を見定める必要がある。今後も実施方法を模索していきたい。</p>	<p>学費が支払い易いように分納制度を利用する者が多くシステムを利用する者が多くなった。</p> <p>授業料は、保護者の負担、時には自己資金で入学する学生もいるので、それらにとり負担感のない費用を配慮し設定している。</p> <p>入学を一度は志したが、入学後辞退者に対しての取り扱いは適切に対処している。</p>

最終更新日付

令和6年2月24日

記載責任者

高橋 系太

7-25 学生募集活動

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	<input type="checkbox"/> 高等学校等における進学説明会に参加し教育活動等の情報提供を行っているか <input type="checkbox"/> 高等学校等の教職員に対する入学説明会を実施しているか <input type="checkbox"/> 教員又は保護者向けの「学校案内」等を作成しているか	5 2 4	<p>高等学校等の私学説明会に参加し、学園の教育方針や活動状況を丁寧に説明している。</p> <p>高等学校の教職員に対して説明をする機会がない。</p> <p>入学を考えている方のために学校説明会資料を作成している。</p>	<p>広報企業の企画に参加し説明会を開催している、今後も良い企画があれば考えていきたい。</p>	<p>高等学校との関連の結びつきを信頼ある物にしていきたい。</p> <p>18歳年齢の減少に対して対策を考えていく必要がある。</p>	学校説明会資料
7-25-2 学生募集を適切、かつ、効果的に行っているか	<input type="checkbox"/> 入学時期に照らし、適切な時期に願書の受付を開始しているか <input type="checkbox"/> 専修学校団体が行う自主規制に即した募集活動を行っているか <input type="checkbox"/> 志願者等からの入学相談に適切に対応しているか <input type="checkbox"/> 学校案内等において、特徴ある教育活動、学修成果等について正確に、分かりやすく紹介しているか <input type="checkbox"/> 広報活動・学生募集活動において、情報管理等のチェック体制を整備しているか	5 5 5 5 5	<p>入学時期に照らし、適切に願書の受付を開始している。</p> <p>東京専修学校各種学校協会に基づいて募集活動を行っている。</p> <p>志願者等からの入学相談はわかりやすく丁寧にに対応している。</p> <p>独自の学校説明会資料に特徴ある教育活動、学修成果についてわかりやすく記載されている。</p> <p>広報活動・学生募集において情報管理は適切に行われている。</p>	<p>細目に個別相談会を行い入学志望者の聞きたいところ、不安に思う事、丁寧に聞き取っているが、更にわりやすく対応したい。</p>	<p>保育実践を短時間で行うと志望者にとって大変参考になるようであるので、より一層深めていきたい。</p>	<p>学校説明会資料 募集要項 入学案内 道灌山学園だより</p>

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
7-25-2 続き	<input type="checkbox"/> 体験入学、オープンキャンパスなどの実施において、多くの参加機会の提供や実施内容の工夫など行っているか <input type="checkbox"/> 志望者の状況に応じて多様な試験・選考方法を取入れているか	5 2	学校説明会 8 回個別相談会 21 回を開催し、多くの情報を多様な志望者に提供している。 指定校推薦入試・O A 入試は行っていない。	学校をより深く理解していただくためにさまざまに工夫して開催しているが、メディアの活用など必要なことがあれば取り組んでいきたい。 受験者の変化に応じた試験方法も検討する必要がある。	入学志望者にとり、どのような内容が学校理解に有効か今後も検討していく。 積極的な学生募集の一環として、指定校推薦入試を導入する。	学校説明会資料 募集要項 学校案内

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
入学希望の志願者に対して積極的に情報を提供している。保育・介護を目指す学生募集は、適切に、効果的に行っているが、広く学園を知らせる方法をこれからも考えていきたい。	

最終更新日付	令和6年2月24日	記載責任者	高橋 系太
--------	-----------	-------	-------

7-26 入学選考

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
7-26-1 入学選考 基準を明確化し、 適切に運用して いるか	<input type="checkbox"/> 入学選考基準、方法は、 規程等で明確に定めている か <input type="checkbox"/> 入学選考等は、規程等に 基づき適切に運用している か <input type="checkbox"/> 入学選考の公平性を確保 するための合否判定体制を 整備しているか	5 5 5	<p>入学者選考基準に基づき入試試験結果を数値化している。</p> <p>入学選考は、規程に基づき適切に運用している。</p> <p>入学選考は、公平性を確保し合否判定体制を整備し、判定会議で決定されている。</p>	<p>入学者の選考については、規程で明確に定め運用しているが良い点数での入学者と、入学後の学生の向上心と学びに対する、前向きな姿勢が一致している場合と、異なるケースが見られる。</p>		募集要項
7-26-2 入学選考 に関する実績を 把握し、授業改善 等に活用してい るか	<input type="checkbox"/> 学科毎の合格率・辞退率 などの現況を示すデータを 蓄積し、適切に管理してい るか <input type="checkbox"/> 学科毎の入学者の傾向に ついて把握し、授業方法の 検討など適切に対応してい るか <input type="checkbox"/> 学科別応募者数・入学者 数の予測数値を算出してい るか <input type="checkbox"/> 財務等の計画数値と応募 者数の予測値等との整合性 を図っているか	5 5 5 5	<p>入学選考データを適切に管理保存している。</p> <p>入学者の傾向について分析把握し、授業の方法等に適切に対応している。</p> <p>入学者数の予測数値を算出している。</p> <p>財務等の計画数値と募集者数の予測値等との整合性を図っている。</p>	<p>入学選考の過去の実績は今後の高等学校の進路指導の様子を見る重要な、要素となっているので今後も情報収集して見守っていきたい。</p> <p>入学者の傾向は、保育・介護に対する意欲が深まってきているように思う。その意欲に応じるように授業に生かした対応を木目細かく行う必要がある。</p> <p>入学者数が、学校の運営に大きく関わっているため今後も力を入れて拡大していきたい。</p>		募集要項

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
入学選考基準を明確にし、選考が適切に行われている。過去の入学者の選考実績を入力し学生募集に生かしている。毎年中途退学者が一定数見られ、それを抑制するために募集・入学選考段階で対策の検討が今後の課題である。	

最終更新日付	令和6年2月24日	記載責任者	高橋 系太
--------	-----------	-------	-------

7-27 学納金

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	<input type="checkbox"/> 学納金の算定内容、決定の過程を明確にしているか <input type="checkbox"/> 学納金の水準を把握しているか <input type="checkbox"/> 学納金等徴収する金額はすべて明示しているか	5 5 5	学納金の算定内容、決定の過程を明確にしている。 学納金の水準を把握している。 学納金等徴収する金額はすべて明示している。			募集要項
7-27-2 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか	<input type="checkbox"/> 文部科学省通知の趣旨に基づき、入学辞退者に対する授業料の返還の取扱いに対して、募集要項等に明示し、適切に取扱っているか	5	募集要項に明示して適切に取り扱っている。			募集要項

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
創設者の学費は、できる限り安い額にするようにとの考えから、保護者の負担、自己の資金で入学する学生にとっても、負担金が過剰にならないように考慮して設定している。 入学辞退者に対しても取り扱いは適切に行っている。	

最終更新日付	令和6年2月24日	記載責任者	高橋 系太
--------	-----------	-------	-------

基準 8 財 務

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学園の収入は大部分が学生の納付金である。昼間部Ⅰ部の学生は確保できているが夜間部Ⅱ部の学生には、年々減少傾向にある。最近の傾向としては、働きながら学ぶ苦学生の道を選択する学生が少なくなっている。新型コロナウイルス禍の学生の動行は厳しい家庭の経済状態を支えながら学ぶ方向に変わることが予測される。学園の収入を支えるには、定員の確保が課題である。広報活動を活発化し受験者の増加に努めていきたい。</p> <p>授業料の値上げを行うことは収入の増加につながるが、入学希望者の減少に繋がるため容易ではない。適切な支出削減の管理を行う等、実施し、各種の問題点に適切に対策することが大切である。</p> <p>私学学校法及び寄付行為に基づき、監事の監査、監査法人の公認会計士の監査を実施し、監査報告書を作成し、理事会で報告・審議している。監査法人の改善意見には、適切に対応している。</p>	<p>学校法人の運営を中期的・長期的に眺め、今後も永続的な学校運営を続けていくために、無理のない支出の削減計画、収入増加計画、計画的な財務状況の確認・確保することが重要課題と思われる。</p>	

最終更新日付	令和6年2月3日	記載責任者	高橋 邦子
--------	----------	-------	-------

8-28 財務基盤

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	<input type="checkbox"/> 応募者数・入学者数及び定員充足率の推移を把握しているか	4	<p>応募者数・入学者数及び定員充足率の推移の把握はしている。</p> <p>最近 2 年間では新規取得固定資産の減価償却費の増加によりバランスが崩れている。</p> <p>翌年度繰越収支差額はマイナスになっていないが、年々減少傾向にある。</p> <p>当年度消費収支超過額もマイナスは収入の落ち込みに加え、減価償却費の負担増による。</p> <p>設備投資は学園運営上最小限不可欠の投資に限っている。</p> <p>学園の固定負債はない。</p>	<p>夜間部Ⅱ部の応募学生数は減少傾向にある。今後どのような対策が考えられるか検討する必要がある。</p> <p>学園の本校舎の改築は終了したが、今後、附属幼稚園園舎の老朽化が進んでいるため早急に対応していかなければならない。</p>		<p>資金収支計画書 財務計画書 減価償却表</p>
	<input type="checkbox"/> 収入と支出はバランスがとれているか	4				
	<input type="checkbox"/> 貸借対照表の翌年度繰越収入超過額がマイナスになっている場合、それを解消する計画を立てているか	4				
	<input type="checkbox"/> 消費収支計算書の当年度消費収支超過額がマイナスとなっている場合、その原因を正確に把握しているか	4				
	<input type="checkbox"/> 設備投資が過大になっていないか	4				
<input type="checkbox"/> 負債は返還可能の範囲で妥当な数値となっているか	5					
8-28-2 学校及び法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	<input type="checkbox"/> 最近3年間の収支状況(消費収支・資金収支)による財務分析を行っているか	5	<p>資金としては過去からの蓄積により直ちに不足になる事態ではないが、固定資産の更新や増加による減価償却後の負担増が事業活動収支に影響を与えている。</p> <p>毎年財産目録・貸借対照表による財務分析を行っている。</p>			
	<input type="checkbox"/> 最近3年間の財産目録・貸借対照表の数値による財務分析を行っているか	5				

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
8-28-2 続き	<input type="checkbox"/> 最近3年間の設置基準等に定める負債関係の割合推移データによる償還計画を策定しているか <input type="checkbox"/> キャッシュフローの状況を示すデータはあるか <input type="checkbox"/> 教育研究費比率、人件費比率の数値は適切な数値になっているか <input type="checkbox"/> コスト管理を適切に行っているか <input type="checkbox"/> 収支の状況について自己評価しているか <input type="checkbox"/> 改善が必要な場合において、今後の財務改善計画を策定しているか		<p>定常する負債はないので償還計画は作成していない。</p> <p>教育研究費比率は適切な数値で推移しているが、人件費率は給与の昇給に伴い増加している。</p> <p>コスト管理は日常より徹底的に行っている。</p> <p>収支の状況はほぼ自己予想と変わらない状況と考える。</p> <p>財務改善計画では附属幼稚園の老朽化の伴う改築が最大の課題となっている。</p>			

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学園の基本財産は一定額が維持されている。今後は施設の老朽化に伴い改築が検討されるので、財務状況に注意を払いながら学園運営をしていきたい。</p>	

最終更新日付	令和年2月3日	記載責任者	高橋 邦子
--------	---------	-------	-------

8-29 予算・収支計画

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	<input type="checkbox"/> 予算編成に際して、教育目標、中期計画、事業計画等と整合性を図っているか <input type="checkbox"/> 予算の編成過程及び決定過程は明確になっているか					
8-29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	<input type="checkbox"/> 予算の執行計画を策定しているか <input type="checkbox"/> 予算と決算に大きな乖離を生じていないか <input type="checkbox"/> 予算超過が見込まれる場合、適切に補正措置を行っているか <input type="checkbox"/> 予算規程、経理規程を整備しているか <input type="checkbox"/> 予算執行にあたってチェック体制を整備するなど適切な会計処理を行っているか		予算の執行計画を策定している。 当初の予算と大きく乖離することが見込まれるときは事前に修正予算を作成し理事会に諮っている。 経理規定は整備されている。 予算執行のチェック体制は常に行っている。			

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）

最終更新日付

令和6年2月3日

記載責任者

高橋 邦子

8-30 監査

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
8-30-1 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	<input type="checkbox"/> 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか <input type="checkbox"/> 監査報告書を作成し理事会等で報告しているか <input type="checkbox"/> 監事の監査に加えて、監査法人による外部監査を実施しているか <input type="checkbox"/> 監査時における改善意見について記録し、適切に対応しているか		監事による監査は年度の終了後に施行し、結果は監査報告書を作成し、理事会で報告している。監事は理事会、評議員会に出席している。外部の監査法人による監査も年間2回実施している。監査時の改善意見には適切に対応している。			

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）

最終更新日付

令和6年2月3日

記載責任者

高橋 邦子

8-31 財務情報の公開

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
8-31-1 私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	<input type="checkbox"/> 財務公開規程を整備し、適切に運用しているか <input type="checkbox"/> 公開が義務づけられている財務帳票、事業報告書を作成しているか <input type="checkbox"/> 財務公開の実績を記録しているか <input type="checkbox"/> 公開方法についてホームページに掲載するなど積極的な公開に取り組んでいるか		財務情報の公開は行い、関係官庁へも報告している。 財務帳票、事業報告書は作成し、理事会、評議員会で報告している。 財務公開は適時行っているが、依頼は少ない。実績は記録している。 ホームページでの公開は現状で施行していない。			

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）

最終更新日付	令和6年2月3日	記載責任者	高橋 邦子
--------	----------	-------	-------

基準 9 法令等の遵守

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>道灌山保育福祉専門学校は、関係法令の規定の内容を遵守し、認可されている、専門学校である。</p> <p>幼稚園と保育士及び介護福祉、それぞれ文部科学省、厚生労働省から管轄の中で指導に基づいて運営している。</p> <p>再課程認定等教育課程の変更について、法令に基づいて申請し実施されている。</p> <p>今年度始めた学校関係者評価について、委員に対して、時期や内容に関して検討して開催していきたい。</p>	<p>各機関に年度ごとの業務報告書を提出し、法令、基準を遵守し確実にを行っている。今後も毎年必要な取り組みには法令等に合わせて行っていく。</p> <p>コンプライアンス及びハラスメント防止について、学ぶと同時に啓蒙し遵守して行くことが大切と考える。</p>	<p>指導大学であるお茶の水女子大学を通じて書類を提出し、文部科学省に報告する。</p> <p>東京都に、毎年学校基本調査を提出した。</p> <p>東京都よりは、学園全体の会計監査が数年毎に行われる。</p>

最終更新日付	令和 6 年 2 月 2 4 日	記載責任者	高橋 系太
--------	------------------	-------	-------

9-32 関係法令、設置基準等の遵守

小項目	チェック項目	評価	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
9-32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	□関係法令及び設置基準等に基づき、学校運営を行うとともに、必要な諸届等適切に行っているか	4	法令、設置基準に基づき学校運営を行い、適正な必要諸届を適切に行っている。	自己点検を行い、適正な必要な手続きを行っているがこれからも適切に運営していきたい。 学生のしおりにわかりやすく規則・規定を表しているが、なお徹底する方法を検討したい。 ハラスメント等について対応マニュアルを策定・運用について検討する。	時代の変化を読みながら遅れないように推進する。	指定教員養成機関の年次報告 指定保育士養成施設業務報告 指定介護福祉士養成施設業務報告 指定保育士養成施設自己点検票 学生のしおり
	□学校運営に必要な規則・規程等を整備し、適切に運用しているか	4	必要な規則・規定を整備し、適切に運用している。			
	□セクシュアルハラスメント等の防止のための方針を明確化し、対応マニュアルを策定して適切に運用しているか	3	学生集会、職員会議等においてハラスメントの関する講話をし、意識を高める。			
	□教職員、学生に対し、コンプライアンスに関する相談窓口を設置しているか	3	始めにクラス担任に相談し次に問題に応じて対応している。			
	□教職員、学生に対し、法令遵守に関する研修・教育を行っているか	3				

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
文部科学省・厚生労働省の指定機関であり規定に基づいて運営している。法令や専修学校の設置基準に関し担当の教職員のみが理解するにこだわらず関心を持ち周知するように努めたい。	

最終更新日付	令和6年2月24日	記載責任者	高橋 系太
--------	-----------	-------	-------

9-33 個人情報保護

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	<input type="checkbox"/> 個人情報保護に関する取扱方針・規程を定め、適切に運用しているか	4	入学者・卒業生・就職関係等、学校には学生の情報が多く、また教職員の個人情報もあり、取り扱い・規定を定めそれぞれの部門で保管管理している。 学校が開設したサイトの運用については情報が漏洩されないように防止策を立てている。 学生には、情報機器の授業で情報の大切さについて聴く時間がある。	個人情報に関する対策行っているが、まだ十分とは言えないところもあるので、ルール確立が必要である。 電磁記録の扱いについて規定をさだめているが、なお一層緊張感を持つての管理が必要。 学生は、情報機器の演習の時間に啓発及び教育を実施しているが、寄りよい感性を高めたい。教員には、職員会議を通じた啓もうが必要。	危機管理に対する対策が十分とは言えないので、今後の課題点でもある。 定期的な見直しとルールの確立を行っていく。 パスワードによる守秘義務の徹底を図る。	
	<input type="checkbox"/> 大量の個人データを蓄積した電磁記録の取扱いに関し、規程を定め、適切に運用しているか	4				
	<input type="checkbox"/> 学校が開設したサイトの運用にあたって、情報漏えい等の防止策を講じているか	4				
	<input type="checkbox"/> 学生・教職員に個人情報管理に関する啓発及び教育を実施しているか	4				

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
情報機器が高度化され年々新しい情報の高度な知識が求められている。新しい情報の取り扱い方を取り入れないと対応できないことがある。それと同時に今後どのような問題が起きても対応ができることが大事と思われる。	

最終更新日付	令和6年2月24日	記載責任者	高橋 系太
--------	-----------	-------	-------

9-34 学校評価

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	<input type="checkbox"/> 実施に関し、学則及び規程等を整備し実施しているか <input type="checkbox"/> 実施にかかる組織体制を整備し、毎年度定期的に全学で取組んでいるか <input type="checkbox"/> 評価結果に基づき、学校改善に取り組んでいるか	3 4 4	指定保育士養成施設自己点検票は、規定等整備し点検し改善につなげている。	自己評価の実態体制を整備し、評価を行っているが尚一層の改善につなげていきたい。		指定保育士養成施設自己点検票 学生アンケート調査票
9-34-2 自己評価結果を公表しているか	<input type="checkbox"/> 評価結果を報告書に取りまとめているか <input type="checkbox"/> 評価結果をホームページに掲載するなど広く社会に公表しているか	3 2	自己評価を行いまとめている。	評価結果をホームページに掲載する方向性で模索中。	実施方法等について問題をまとめ	
9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	<input type="checkbox"/> 実施に関し、学則及び規程等を整備し実施しているか <input type="checkbox"/> 実施のための組織体制を整備しているか <input type="checkbox"/> 設置課程・学科に関連業界等から委員を適切に選任しているか <input type="checkbox"/> 評価結果に基づく学校改善に取り組んでいるか	3 3 3 3	学校評価の実施体制を整備し評価を行っている。 授業についての自己評価は、講義の最終にアンケートを実施し、まとめている。 学生から教職員に対しての評価は授業の改善につなげている。	第三者評価委員会を設置するなど評価の在り方を検討中。	学校関係者評価の重要性は、教職員が認識しているが尚一層の在り方について検討中。	
9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか	<input type="checkbox"/> 評価結果を報告書に取りまとめているか <input type="checkbox"/> 評価結果をホームページに掲載するなど広く社会に公表しているか	3 2	学生からの授業アンケートは、評価結果を集計しまとめ関係者に周知している。	学校関係者評価結果を公表の方向性で検討中。	自己評価・自己点検を整備し公表に至るように努力中	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
自己点検・自己評結果については、公表されているが、学生・保護者までの公開には至っていない。評価全体計画を整備して公表できるようにしたい。	

最終更新日付	令和6年2月24日	記載責任者	高橋 系太
--------	-----------	-------	-------

9-35 教育情報の公開

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	<input type="checkbox"/> 学校の概要、教育内容、教職員等教育情報を積極的に公開しているか <input type="checkbox"/> 学生、保護者、関連業界等広く社会に公開しているか	4 4	道灌山学園だよりで定期的に学校の取り組みを知らせ、公表している。 行事の際には公表し出席を呼び掛けている。	教育の情報公開について積極的に声を掛けるが集客が少ない。もっと魅力的な方法を模索していきたい。	学校説明会 8 回・4 個別相談会 21 回実施しているが、より積極的な情報公開をしていきたい	道灌山学園だより 学校説明会資料

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
道灌山学園だより、学校説明会資料等発行しているが更に教育の情報を公開する方法を検討し理解していただく方法を検討していきたい。	

最終更新日付	令和 6 年 2 月 2 4 日	記載責任者	高橋 系太
--------	------------------	-------	-------

基準 10 社会貢献・地域貢献

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学校と近隣との関係は、学校を理解していただくことから始まる。学校行事の体育祭に際しては、近隣に挨拶して回り行事の説明をしてご理解いただくようにしている。また、敬老会の方には、見学にお越しいただく招待もしている。</p> <p>学生が、学校の周りの掃除を行っているとき「ご苦労さん。」と声を掛けてくださる、また積雪の日には近隣は高齢者が多く生活をしているので、除雪して喜ばれている。近隣の生活に密着することが大切と考える。</p> <p>介護福祉士専攻科は、「ふれあいカフェ」を荒川区社共と協賛して開き、近隣の高齢者の方々より喜ばれている。今年は新型コロナウイルス感染症対策のために活動を自粛している。</p> <p>荒川区にある「ふれあい館」に学生の作った保育技術発表会の演目を持ち公演に出掛け好評を頂く等、より一層の活動を行いたい。</p>	<p>社会貢献・地域貢献は、日常生活の中に根ざした形でないと定着しないと考えている。学生が通学途中の道路の歩き方から近隣の方々は見てもその行いが悪いと学校に連絡がある。それは学生の社会常識を育てる上でその声に感謝しなければならない。学生のきめ細かく指導していかないと考えている。</p>	<p>「夏季幼児教育研究会」は荒川区の後援をいただいている関係で地域の方で興味・関心がある方には参加していただけるようプログラムの工夫を行っている。</p>

最終更新日付	令和6年2月3日	記載責任者	高橋 系治
--------	----------	-------	-------

10-36 社会貢献・地域貢献

小項目	チェック項目	評価	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	<input type="checkbox"/> 産・学・行政・地域等との連携に関する方針・規程等を整備しているか <input type="checkbox"/> 企業や行政と連携した教育プログラムの開発、共同研究の実績はあるか <input type="checkbox"/> 国の機関からの委託研究及び雇用促進事業について積極的に受託しているか <input type="checkbox"/> 学校施設・設備等を地域・関連業界等・卒業生等に開放しているか <input type="checkbox"/> 高等学校等が行うキャリア教育等の授業実施に教員等を派遣するなど積極的に協力・支援しているか <input type="checkbox"/> 学校の実習施設等を活用し高等学校の職業教育等の授業実施に協力・支援しているか <input type="checkbox"/> 地域の受講者等を対象とした「生涯学習講座」を開講しているか <input type="checkbox"/> 環境問題など重要な社会問題の解決に貢献するための活動を行っているか <input type="checkbox"/> 教職員・学生に対し、重要な社会問題に対する問題意識の醸成のための研修、教育に取り組んでいるか	3 2 3 4 4 4 4 4 4	<p>介護では、地域との交流イベントを開催して好評を得ている。</p> <p>機会がある場合には、参加して貢献したい。</p> <p>雇用促進授業について介護では積極的に受け入れ、介護の知識を高める貢献をしている。</p> <p>公共機関からの要請や、卒業生に対しては門徒を開いている。</p> <p>介護教員は、公的機関からの要請を受けて、介護講習会で指導を行っている。</p> <p>将来の職業選択として保育を志す高校生のために、見学を受け入れている。</p> <p>地球温暖化防止の関連しLED化し、ゴミの削減、紙のリサイクル、ペットボトル等再利用の諸問題に対して活動している。</p> <p>重要な社会問題に対して学生集会時に注意を喚起している。</p>	<p>今後とも地域との交流は活性化していきたい。</p> <p>介護関係は雇用促進のために今後も積極的に受託推進していきたい</p> <p>保育を希望している高校生に半日、保育の授業を体験し職業選択の良いきっかけとなるよう期待したい。</p> <p>環境問題は学生に対して問題意識を働き掛けたい。</p> <p>重要な社会問題は、学校全体で認識し、問題定義をしていきたい</p>	<p>絵本の、読み聞かせの活動を行っているが、気楽に参加できるようにいきたい。</p>	

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課 題	課題の改善方策	参照資料
10-36-2 国際交流 に取り組んでいるか	<input type="checkbox"/> 海外の教育機関との国際交流の推進に関する方針を定めているか <input type="checkbox"/> 海外の教育機関と教職員の人事交流・共同研究等を行っているか <input type="checkbox"/> 海外の教育機関と留学生の受入れ、派遣、研修の実施など交流を行っているか <input type="checkbox"/> 留学生の受入れのため、学修成果、教育目標を明確化し、体系的な教育課程の編成に取り組んでいるか <input type="checkbox"/> 留学生の受入れを促進するために学校が行う教育課程、教育内容・方法等について国内外に積極的に情報発信を行っているか	4 3 3 1 1	<p>アメリカハーバード大学のアカペラグループと学生、教職員付属の幼稚園の園児保護者と大変有意義な交流を持つことができた。このような活動が真の国際交流になると考える。</p> <p>ベトナムとの幼児教育交流の計画があったが、ベトナムの国の事情で計画はなくなった。</p> <p>留学生が入学を申し出るケースは見られないが、今後申し出があった場合、現在は受け入れの体制が整っていない。</p>	隔年に世界一周を行い令和2年も計画はあったが、新型コロナウイルス禍のため公演が中止となり残念な出来事となり次回に期待したい。		

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
社会貢献・地域貢献は積極的に行わないと近隣との関係は前進が見られない。学校があることで、迷惑をかけている現状もあるので、これからもさらに検討を進めていく必要がある。	

最終更新日付	令和6年2月3日	記載責任者	高橋 系治
--------	----------	-------	-------

10-37 ボランティア活動

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題	課題の改善方策	参照資料
10-37-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	□ボランティア活動など社会活動について、学校として積極的に奨励しているか	4	保育・介護のボランティア活動は積極的に推進している。	ボランティア活動推進したいが、学生の生活状況により、受けたいが生活のためにアルバイトが優先され受けられない場合がある。	実習園先で実習の態度に好感が寄せられると依頼されるケースが多く、良い事と受け止めている。これを充実させていくにはボランティアの時間など学生の都合に合わせる等、改善の方向性を見出していきたい。	
	□活動の窓口の設置など、組織的な支援体制を整備しているか	4	実習した後、実習先より依頼されるケースが見られる。			
	□ボランティアの活動実績を把握しているか	3	学校が窓口の場合は、把握している。自主的に参加している場合把握しきれていない。			
	□ボランティアの活動実績を評価しているか	4				
	□ボランティアの活動結果を学内で共有しているか	4	ボランティア団体から感謝されると、学生に伝えそれが大変励みとなる。			

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生のボランティア活動を奨励するためには、気持ちよくその活動に参加することが重要となる。日常的なボランティア活動は難しいケースもあるが、単発的に参加することは、可能である様子が見られる。	

最終更新日付	令和6年2月3日	記載責任者	高橋 系治
--------	----------	-------	-------

4 令和4年度重点目標達成についての自己評価

令和4年度重点目標	達成状況	今後の課題
<p>本校に学ぶ学生は、保育者・介護者として専門的な知識と技術を身につける事は、当然と考えるが、その前に一社会人として、常識的な知識に基づいた行動ができる事を前提としている。</p> <p>1、社会人としての意識と行動とは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間愛の感情を持ち正しい判断に基づく自律的な行動ができる事。 ・仲間との行動が、社会的なルールに従った正しい行動ができる。 ・他者の存在を認め、仲間と社会を通じ協力して行動し成果を成し遂げることができる。 <p>2、指導力・実践力を備えた保育者・介護者である事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門的知識と技術を持ち、それを現場で実践できること。 ・幼児の成長や発達に対する正しい知識を持ち、必要に応じて発揮できること。 ・高齢者の心理や行動、体の仕組みの仕組みに対して正しい、知識と技術を身につけ、必要に応じて発揮することが出来る。 	<p>幼稚園教員・保育士・介護福祉士はいずれも人間性を重視した仕事領域を司る職種であり、次の点を重視して指導を行っている。</p> <p>1、社会人としての意識と行動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業を蔑ろにせず真面目な取り組みを指導する。 ・常識的な行動を可能にするための知識と技術が学べるようにハードソフト環境を備える。 ・相手を思い、常識な思考と行動を行うように、ホームルーム等通じて、指導する。 <p>2、幼児教育、介護の専門分野の知識と実践力及び連携について裁可を結び付ける喜びを味わう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児の発達に関する知識が現場で生かされる基本的な知識の習得。 ・高齢者の心理や健康に関する知識を身につける。正しい診断と支援へのチャレンジ。 ・同じ目標を持つ仲間と、保育研究活動や介護実習の報告を通じて、他に対する配慮と、ともに活動する喜びを味わう。 ・相手を思い行動する喜びと、それが国際化する世の中の必要な要件であることを学ぶ。 	<p>法令改正に伴う教科目名の変更と単位・時間数が、教職課程と保育士養成課程が大きな変更のあることを踏まえ、質の高い保育者・介護者の養成に向けて一層の努力が必要なる。下記の重点目標を徹底する。</p> <p>(1) 保育・介護の専門家として、その取り組みは、高い知識と技術を有し、真面目に自らを律しながら行動できる人作り。</p> <p>(2) 人間尊重の精神に基づき相手を思いの行動が、できる人作り。</p> <p>(3) 学業を学ぶ基本的な姿勢を身につける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の態度 ・欠席・遅刻・早退に対して指導する。 ・仲間とのコミュニケーションを深め良い関係を作る。 <p>(4) 教員・職員のFDの充実を務め、わかりやすい魅力ある授業に向けて前向きに取り組むよう指導する。</p> <p>(5) 相手を思いやり行動する喜びと、それが国際化する世の中の必要な要件であることを学ぶ。</p>